

第2部 区政のあらまし

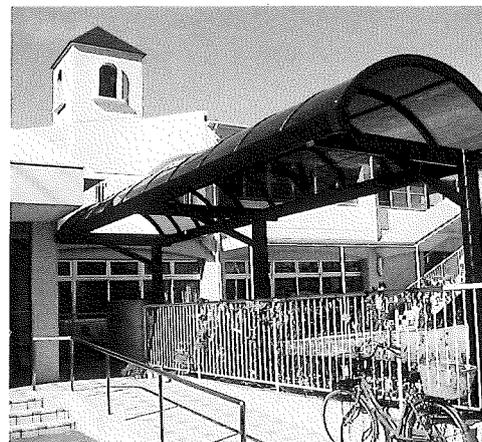
第1章 福祉と健康

1 福祉の充実

(1) 高齢者福祉

名古屋市の高齢者人口は、平成6年4月現在257,685人で市人口の12%を占めています。

名東区では、人口151,604人に対し、高齢者人口が、12,195人で8.0%を占めています。



名東パラダイス

① 老人福祉施設

家庭での生活が困難な高齢者のために、養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・軽費老人ホーム・老人デイサービスセンター・老人福祉センターがあります。

名東区の高齢者人口

| 区分 | 65~69 | 70~74 | 75~79 | 80~84 | 85~89 | 90~ | 計 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 男 | 2,345 | 1,283 | 845 | 472 | 203 | 61 | 5,209 |
| 女 | 2,514 | 1,763 | 1,189 | 851 | 436 | 233 | 6,986 |
| 計 | 4,859 | 3,046 | 2,034 | 1,323 | 639 | 294 | 12,195 |

名東区内の老人福祉施設一覧

| | 種 類 | 所 在 地 | 定 員 | 設立年月 |
|---------|--------------|------------|-------|---------|
| 厚生院 | 特別養護老人ホーム | 勢子坊二丁目1501 | 300人 | 昭57. 10 |
| 極楽苑 | 特別養護老人ホーム | 大針一丁目265 | 80人 | 平3. 7 |
| 名東パラダイス | 老人デイサービスセンター | 名東本通5丁目8 | 1115人 | 平4. 4 |
| 福祉会館 | 老人福祉センター | 亀の井二丁目201 | | 昭53. 1 |

② 在宅福祉

ねたきり高齢者・痴呆性高齢者・ひとり暮らしの高齢者に対して、介護手当、寝具・寝台貸与、移動入浴、短期入所、デイホーム、福祉電話貸与、老人相談員、ホームヘルパー・なごやかスタッフの派遣などの制度・事業があります。

③ 敬老特別乗車券

65歳以上の高齢者に「敬老特別乗車券」と「敬老手帳」が交付されています。

平成6年4月1日現在、「敬老手帳」の交付対象者は、名東区で12,195人、全市で257,685人です。

④ 老人クラブ

分区当時は、会員数1,906人、33クラブでした。平成6年4月1日現在、4,185人の会員で69クラブが結成されています。

名古屋市では、131,000人の会員で2,186クラブが結成されています。

(2) 身体障害者福祉

平成6年3月末現在、市内には54,000人、名東区においては2,513人が身体障害者手帳の交付を受けています。昭和50年の分区当時は、680人が受けていました。

身体障害者手帳の交付を受けた人に対して障害を克服し、社会経済活動に参加できるよう更生の援助が行われています。

名東区の身体障害者手帳交付者数

| 等級別 障害別 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 視覚障害 | 85 | 57 | 23 | 20 | 17 | 16 | 218 |
| 聴覚平衡障害 | 41 | 75 | 19 | 28 | 1 | 57 | 221 |
| 音声言語障害 | 0 | 0 | 22 | 9 | 0 | 0 | 31 |
| 肢体不自由 | 206 | 322 | 344 | 270 | 199 | 69 | 1,410 |
| 内部障害 | 286 | 4 | 223 | 120 | 0 | 0 | 633 |
| 合 計 | 618 | 458 | 631 | 447 | 217 | 142 | 2,513 |

(平成6年3月31日現在)

① 身体障害者更生援護施設

更生に必要な治療、指導、訓練を行い社会復帰を促進する身体障害者更生施設、常時の介護を必要とする重度身体障害者を入所させ、治療、養護を行う身体障害者療護施設のほかに、身体障害者授産施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者リハビリテーションセンター、身体障害者デイサービス施設などが設置されています。

② 身体障害者援護

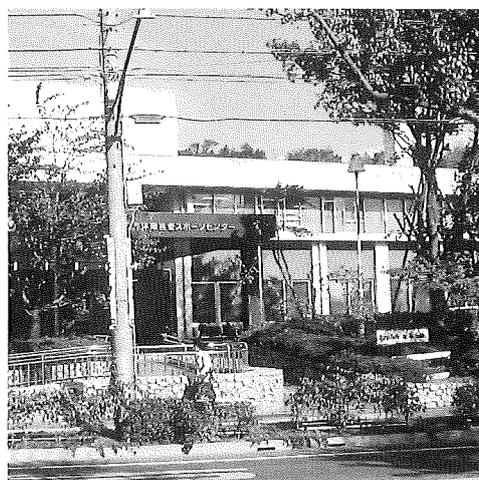
身体障害者手帳の交付、更生医療の給付、医療費助成、補装具の交付、寝具・特殊寝台の貸与、日常生活用具の給付、ホームヘルパー等の派遣、市営交

通料金・JR旅客運賃の割引、福祉電話貸与、重度障害者自動車改造補助、タクシー料金助成、移動入浴事業等多くの制度・事業があります。

③ 生活環境整備

スポーツを通じて障害者の健康増進や社会適応訓練等、お互いの交歓を深め社会復帰を促進する目的で、身体障害者スポーツセンターが名東区勢子坊二丁目1501番地に昭和56年5月に開館しました。

次いで、昭和59年12月に厚生院、身体障害者スポーツセンター周辺が生活環境整備の一環として、ハンディキャップゾーンに指定され、整備が行われました。



身体障害者スポーツセンター

(3) 児童福祉

すべての児童が心身ともに健やかに育つよう、家庭・学校・地域と連携して児童の健全育成に努めるとともに、保護を必要とする児童に対する援護活動が行われています。

① 児童福祉施設

◇ 保育所

家庭において保育に欠ける乳幼児を保育する施設です。

◇ 保育所を始め、助産施設、母子寮、乳児院、養護施設等の児童福祉施設は14種類あります。

名東区保育園一覧表

(平成6年4月1日現在)

| 名 称 | 定員 | 所 在 地 | 電 話 | 許可・設置年月日 |
|----------|-----|------------|----------|----------|
| 猪高保育園 | 90 | 上社四丁目262 | 701-0041 | 昭28.8.15 |
| 猪子石第一保育園 | 120 | つつじが丘201 | 771-7884 | 昭44.4.1 |
| 梅森坂保育園 | 130 | 梅森坂四丁目102 | 702-2020 | 昭46.4.1 |
| にじが丘保育園 | 100 | にじが丘3-17 | 782-0411 | 昭46.6.1 |
| 猪子石第二保育園 | 100 | 文教台一丁目920 | 771-0337 | 昭47.4.1 |
| 藤が丘保育園 | 100 | 藤が丘99 | 773-3650 | 昭50.6.1 |
| 亀の井保育園 | 100 | 亀の井二丁目201 | 703-4380 | 昭51.6.1 |
| よもぎ保育園 | 100 | よもぎ台二丁目514 | 774-5533 | 昭52.10.1 |
| 牧野池保育園 | 120 | 牧の里三丁目701 | 703-2341 | 昭54.10.1 |
| 高針北保育園 | 100 | 勢子坊二丁目1302 | 701-4555 | 昭56.6.1 |
| 牧野原保育園 | 100 | 牧の原一丁目1303 | 703-1177 | 昭56.5.1 |
| 藤里保育園 | 100 | 藤里町1003 | 776-0159 | 昭58.4.1 |
| 香流保育園 | 350 | 神月町604 | 771-6101 | 昭27.4.1 |
| 極楽保育園 | 90 | 大針一丁目266 | 703-7007 | 昭56.4.1 |
| 名東保育園 | 100 | 高間町135 | 701-2622 | 昭56.4.1 |
| 花園保育園 | 200 | 高針二丁目1801 | 701-0027 | 昭27.4.1 |

② 在宅障害児の援護

◇ 心身障害児～いこいの家通所・短期入所・療育相談。

◇ 重度障害児～日常生活用具給付。

◇ 重度心身障害児～ホームヘルパー派遣。

上記のほか多くの制度・事業が行われています。

③ 児童健全育成

◇ 子ども会活動

名東区は、平成6年3月現在193子ども会、10,110人で行われています。主な行事は、夏休み中の「子ども会リーダー養成キャンプ」、秋には「子ども会交歓会」等を実施しています。

また、「名東区子ども会育成連絡協議会」が、設置され毎月1回会議が開かれています。

ボランティアサークル「じゃりんこ」が、子ども会行事等への協力、地域子ども会への巡回指導等を行い活発な活動をしています。

◇ 留守家庭児童健全育成事業

④ 児童関係手当制度等

◇ 児童手当

児童扶養手当

遺児手当

愛知県遺児手当

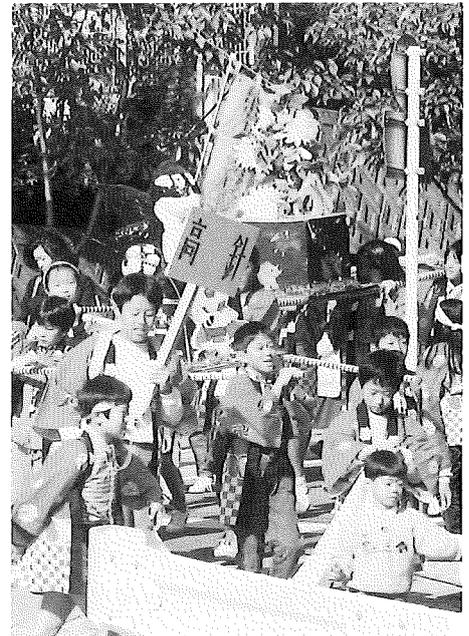
特別児童扶養手当

障害児福祉手当

◇ 乳幼児医療費助成



リーダー養成キャンプ



子ども会交歓会

(4) 母子(父子)・寡婦福祉

母子相談員による相談・指導、母子・寡婦福祉資金の貸付、家事介護サービス、休養ホーム事業、公営住宅の入居斡旋等が行われています。

また、区内には、財団法人名古屋市千種母子福祉協会運営による母子寮「名古屋市にじが丘荘」が設置されています。

(5) 知的障害者福祉

愛護手帳の交付（名東区364人）、精神薄弱者更生相談所と連携をとりながら施設への入所、心身障害者扶養共済事業、各種手当の支給が行われています。

また、区内には、社会福祉法人名東福祉会により、昭和57年4月から通所授産施設「メイトワークス」（勢子坊二丁目1303番地）と、平成6年10月から通所更生施設「はまなす」（高針台一丁目911番地）が運営されています。

(6) 生活保護事業

生活の困窮の程度に応じて、生活・教育・住宅・医療・出産・生業・葬祭扶助の7種類の扶助が行われています。名東区は、母子世帯が多く、高齢世帯が少なく、また、1世帯当たりの保護人員が1.90人と16区中1番多いことが特色といえます。

名東区の生活保護の動向

| 年 月 | 被保護世帯数 | 被保護世帯人員 | 保 護 率 | 標準世帯の保護費 |
|---------|--------|---------|-------|----------|
| 昭和50年4月 | 220 | 583 | 7.20 | 58,440円 |
| 昭和60年4月 | 376 | 855 | 6.18 | 124,486円 |
| 平成6年4月 | 336 | 639 | 4.17 | 155,717円 |

(保護率=千分率、標準世帯の保護費=標準世帯(33歳男・29歳女・4歳子)の生活扶助費のみ)

被保護世帯数類型別内訳

(平成6年4月)

| 世帯区分 | 世帯数 | 構成比(%) | 名古屋市の構成比 |
|-----------|-----|--------|----------|
| 高 齢 世 帯 | 117 | 34.8 | 43.1 |
| 母 子 世 帯 | 69 | 20.5 | 6.7 |
| 傷病障害世帯 | 118 | 35.2 | 41.9 |
| そ の 他 世 帯 | 32 | 9.5 | 8.3 |

(7) 福祉関係機関・団体

① 社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉関係者などによって組織された、民間主体の社会福祉推進団体です。名東区では、昭和50年2月、分区と同時に設立されました。その後、昭和59年には、ボランティアビューローの業務が開始され、昭和60年からは、ひとり暮らし高齢者給食サービス（平成6年4月現在12学区で実施中）が始まりました。昭和61年からは、地域福祉推進協議会（平成6年4月現在17学区）の設立、といったように事業の伸展が図られてきました。また、平成2年には「なごやかヘルプ」事業が開始され、社会福祉事務所と協力して在宅福祉の充実に努めています。なお、平成6年4月1日名東区社会福祉協議会は、任意団体から社会福祉法人へと組織変更されました。

② 民生委員

平成6年4月現在、名東区の民生委員・児童委員は228人で、学区には民生委員協議会が、区に民生委員協議会名東区総務連絡会が組織されています。民生委員は、行政の協力機関として、さまざまな福祉の問題を抱えている人に対して、相談や助言、指導、援助活動を行っています。

③ 共同募金委員会

昭和34年からは、毎年10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金」が、全国の組織と歩調をあわせて、募金運動を展開しています。

④ その他

地域福祉推進協議会、社会福祉協力校、社会福祉実践校等、それぞれの分野で活動をしています。

2 健康と快適な地域環境

高齢化社会を迎えて、成人病など、市民の健康に対する関心はますます高まっています。また、都市化の進展、生活様式の変化により、より快適で健康的な生活環境が求められています。こうした健康、医療、生活環境の向上を求める市民の声に応えるため、昭和50年2月の分区と同時に保健所を設置し、地域保健の充実に努めています。

(1) 健康の確保・増進のために

| | |
|------|--|
| 母子保健 | 3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、母親教室、新生児訪問 |
| 成人保健 | 成人病（心臓病・糖尿病）、がん（胃・大腸・肺・子宮・乳）検診 成人病予防教室、さわやか健康教室 |
| 疾病予防 | エイズ抗体検査、予防接種、結核検診 |
| 精神保健 | 相談、訪問指導、料理教室、創作教室 |
| 訪問看護 | 保健婦の家庭訪問 |
| 健康教育 | 講習会、区民健康・環境展の開催 |

(2) 適切な医療サービスを受けるために

| | |
|----------|---------------------------|
| 救急医療 | 休日急病診療所、外科医の輪番制による対応 |
| 医務・医療 | 病院、診療所、歯科技工所等の監視、医療費の公費負担 |
| 在宅療養支援事業 | 在宅ねたきり高齢者の保健・医療・福祉サービスの提供 |

(3) 健康的で快適な生活環境を目指して

| | |
|------|---|
| 環境衛生 | ごきぶりの駆除指導、理容所・美容所・旅館等の監視指導、飲料水等の衛生指導 |
| 食品衛生 | 飲食店等の営業許可・監視指導 |
| 飼犬指導 | 飼犬の登録・注射実施、野犬・放浪犬の捕獲、動物愛護思想の普及 |
| 公害対策 | 公害関係施設に対する規制・指導、公害の苦情処理、ミニ環境展、環境講演会等の開催 |

(4) 保健委員会

地区における公衆活動への市民参加と理解を促すため、市長が委嘱する保健委員を置き、保健所及び環境事業所への援助協力等をお願いしています。名東区では381人を委嘱しています。



健康診断



親子水辺教室

第2章 安全と環境

1 警察

警察制度は激動する時代とともに変遷を重ね、今日の制度が形成されたのは、昭和29年7月でした。

昭和50年2月、猪高地区が分区独立して「名東区」になったことに伴い、警察署新設の強い要望が出されたことから、一社派出所が「名東警部補派出所」に格上げされ、新設のための準備が開始されました。

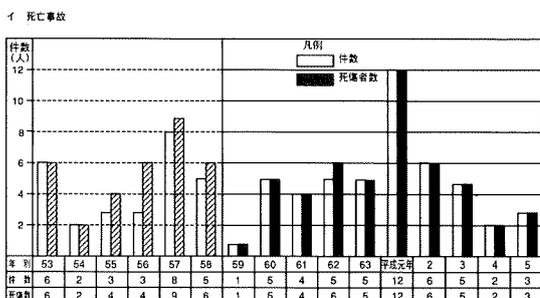
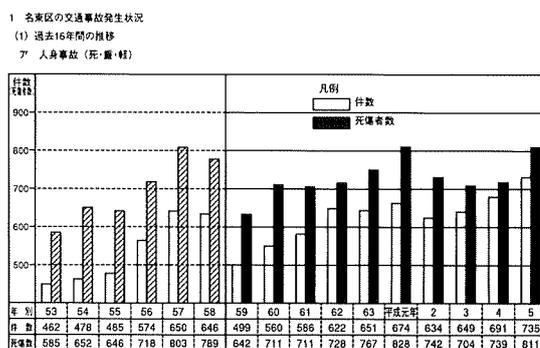
昭和53年8月、名東警察署が新設され、千種警察署管内であった猪高地区のほとんどを管轄することになりました。

(1) 交通事故

昭和53年の人身事故は462件で、死傷者数は585人でした。昭和57・58年は、件数が約650件で、死傷者数は約800人と名東署として最初のピークとなりました。翌59年は激減しましたが、60年から毎年増加しだし、平成元年が第二のピークになりました。その後、次のピークに向かって増加中です。平成5年には、昭和53年名東署発足以来最多の735件の人身事故を記録、その内、主要地方道名古屋長久手線で93件でした。

交差点関連事故が480件で人身事故の65.3%を占めています。若者の事故が266人と全死傷者の32.8%を占めています。年別の交通事故死亡者は、平成元年の12人が最も多く、次いで昭和57年の9人でした。逆に少なかった年は昭和59年の1人、昭和54年・平成4年の2人となっています。こうした交通事故の背景は、運転免許保持者、自動車保有台数のますますの増加に加え、自動車交通の広域化、生活形態の夜型化、レジャー志向の高まり、自動車使用の多様化、さらに道路網の整備による交通量の増加等、様々な社会情勢の変化が考えられます。

名東区の交通事故発生状況



(2) 防犯

名東区は、田畑が点在するのどかな丘陵地帯でしたが、地下鉄や幹線道路の整備の結果、急激な都市化が進み、旧来の村落と居住者が頻繁に交代するアパートやマンションとが混在し、防犯に対する連帯意識が稀薄になりました。人口の増加とともに犯罪が急増していて、積極的にパトロールの強化などの防犯活動が行われていますが、社会情勢や地域環境の変化が犯罪発生要因を増加させ、これまで地域社会が内在的に持っていた自律的な防犯機能や相互扶養機能が低下したために、著しく犯罪情勢が悪化しています。このため、「自分たちの町は自分たちで守る」という地域住民の自主的な活動が必要になり、名東区防犯協会連合会、防犯連絡所等が中心となって、地域住民による自主的な防犯活動を展開し、社会の変化に対応したより効果的な地域安全活動が実施されています。

2 消防

現在、本署と星ヶ丘、猪子石、豊が丘の3出張所、署員119名で、消防、救急活動等の消防業務に当たっています。区開設時には、本署と星ヶ丘、猪子石の2出張所、署員53名のスタートでした。

(1) 消防・救助活動

区内では、平成5年中に85件の火災が発生し、損害額は4千3百万円余にのぼり、死亡者数は1人でした。人命救助活動も増加し、猪子石出張所に救助隊が配置されています。

また、区内には19消防団が設立され、火災・水害・地震等の災害に出動するなど区内の災害防止に努めています。

(2) 救急活動

本署救急隊と猪子石出張所救急隊の2隊が急病や、交通事故、その他の救急業務に対応しています。

平成5年中の区内の救急出動件数は2,651件と開設時と比べて3倍以上の増加となっています。

平成5年10月本署に救急救命士と高規格救急車が配置され活躍しています。

(3) 予防活動

平成5年中に市内で1,174件、名東区内では85件の火災が発生しました。その内訳は、建物火災33件、車両火災14件、林野火災7件、その他31件で、主な火災原因は、放火（疑いを含む）25件、たばこの不始末14件、火遊び13件等の順になっています。

火災を少しでも減らすため、「くらしの防災セミナー」、「高齢者世帯防災指導」、「学区ぐるみ防火点検」の実施等幅広く火災予防活動が行われています。

名東区年別火災件数

| 年 | 件数 | 年 | 件数 |
|------|-----|-----|----|
| 昭和50 | 92 | 平成1 | 83 |
| 51 | 145 | 2 | 76 |
| 52 | 138 | 3 | 61 |
| 53 | 105 | 4 | 84 |
| 54 | 115 | 5 | 85 |
| 55 | 99 | | |
| 56 | 97 | | |
| 57 | 83 | | |
| 58 | 91 | | |
| 59 | 105 | | |
| 60 | 77 | | |
| 61 | 82 | | |
| 62 | 70 | | |
| 63 | 73 | | |



初期消火訓練



消火活動

3 災害対策

災害は忘れた頃にやってくるといわれますが、普段からの備え、心構えが大切です。名古屋市では風水害・地震災害から市民の安全な暮らしを守るため、災害対策基本法等に基づき防災体制を固めています。

また近年は、東海地震が懸念されており、災害に強い街づくりが強く要請されています。

名東区においては、昭和58年9月集中豪雨により、死者2名を始め数多くの浸水地域が出るなど大きな被害を受けました。

これを教訓に、現在総合排水整備計画の推進や流域貯留浸透事業が進められ安全な街を目指しています。

また、災害対策委員との連絡を密にし、地域における防災および救助の万全を期しています。

なお、区内には、非常災害時の避難所が各学区2～4か所、計47か所が指定されています。

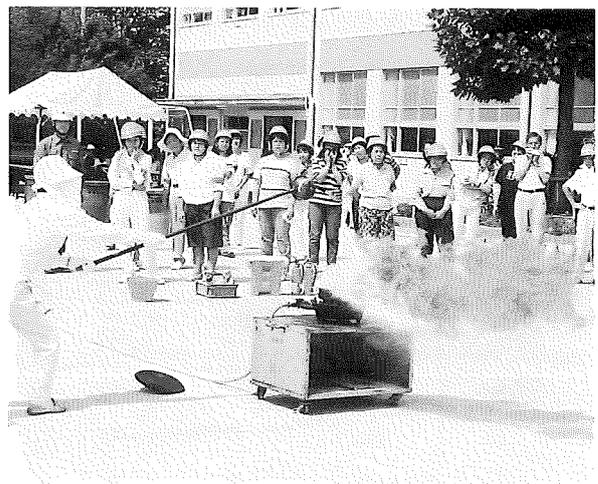
また、広域避難場所として、平和公園・東山公園・牧野ヶ池緑地の3か所が指定されています。



水防訓練

(1) 防災訓練

毎年9月1日の「防災の日」に、なごや市民総ぐるみ防災訓練を受けて、名東区総合防災訓練が実施されています。地震災害を想定し、区の防災組織と関係機関の協力を得て、情報収集伝達、避難誘導、応急救護、炊き出し、初期消火、応急給水などの訓練が行われています。



防災訓練

(2) 水防訓練

毎年6月頃に風水害被害を想定して実施されています。区の防災組織や関係機関の協力により情報収集伝達、水防工法などの訓練が行われています。

(3) 自主防災組織

地震災害などの場合に“自分たちの町は自分たちで守る”ため、昭和56年度から自治会や町内会を単位とした「自主防災組織」の結成、育成に取り組まれています。

この自主防災組織は、大規模な災害が発生したとき、まず隣近所で発生した災害を組織的な力で初期の段階でくい止め、拡大を防ごうというものです。

区内には、19学区で、189の「自主防災会」が結成されています。

4 廃棄物処理・リサイクル

(1) 廃棄物処理

家庭ごみを中心とする、ごみ収集の基本的な形態は家庭の戸口から直接積み込む方式ですが、これは明治以来今日までほとんど変わっていません。名古屋市においては、現在、一般ごみについては週2回、粗大ごみについては、名東区においては、昭和44年度からおおむね年5回の割りで分別ごみとおなじ曜日に収集されていましたが、平成5年10月から電話による事前申込制度に変わり、月1回の収集日には原則として家庭の戸口で収集されています。

昭和49年7月から「分別収集」が開始され、週1回ステーション方式により収集されています。

これらのごみは焼却と埋立てにより処理されています。一般ごみなどの可燃ごみは猪子石工場など、市内5か所にある焼却施設で処理されています。

分別ごみ、粗大ごみ(不燃ごみ)などは愛岐処分場と市内3か所にある埋立処分場で処理されています。

(2) ごみ減量の推進

人口の増加や消費生活の変化からごみは増加し、ごみ質は多様化しています。今後、焼却工場の建設や埋立処分場の確保などが一層困難になることが予想される中で、これらに対応するためには、行政だけでなく、市民、事業者が一体となってごみ減量の推進を進めていく必要があります。

エネルギー問題をきっかけとした資源を大切にしようという区民の意識の高まりを背景に、昭和50年度からごみとして排出する前に、選別回収し再利用しようとする「資源再利用運動」が展開されています。

ごみ減量の推進施策として、アルミ缶・牛乳パックの環境事業所での引き取り、区役所での月1回の引き取りが行われています。

また、集団回収活動団体への事業協力金の交付、資源回収用具の貸し出し、空缶回収機の貸し出し等の運動が展開されています。

最近5年間のごみの量

| | 作業 日数 | 一般ごみ | | 分別ごみ | | 粗大ごみ | | その他 | | 合計 | |
|-------|----------|-----------|--------|----------|-------|----------|-------|--------|------|-----------|--------|
| | | 収集量 | 日量 | 収集量 | 日量 | 収集量 | 日量 | 収集量 | 日量 | 収集量 | 日量 |
| 平成元年度 | 310 | 30,329.32 | 97.84 | 8,306.72 | 26.79 | 3,159.14 | 10.19 | 415.59 | 1.34 | 42,210.77 | 136.16 |
| 平成2年度 | 309 | 30,479.07 | 98.64 | 8,243.60 | 26.68 | 3,048.19 | 9.86 | 395.53 | 1.28 | 42,166.39 | 136.46 |
| 平成3年度 | 311 | 30,874.86 | 99.28 | 7,936.18 | 25.52 | 2,983.92 | 9.59 | 332.96 | 1.07 | 42,127.92 | 135.46 |
| 平成4年度 | 310 | 31,007.41 | 100.02 | 7,750.01 | 25.00 | 2,966.06 | 9.57 | 383.35 | 1.24 | 42,106.83 | 135.83 |
| 平成5年度 | 310 | 31,780.72 | 102.52 | 9,315.92 | 30.05 | 1,889.12 | 6.10 | 273.93 | 0.88 | 43,259.69 | 139.55 |

(日量は収集量を作業日数で除した数量。単位はトン)

5 都市の緑化

名古屋市の都市公園は、名古屋市の管理する名城公園・鶴舞公園等及び愛知県の管理する小幡緑地・牧野ヶ池緑地といった総合公園・広域公園等を拠点とし、地区公園・近隣公園・街区公園などの住区基幹公園が適度に配置されています。これらの都市公園は、市民の安らぎと憩いの場、運動・レクリエーションの場、児童の安全な遊び場、また、災害時の避難場所として広く市民に利用されています。

名東区内では、平成6年4月現在で98か所、44.06ha(他に公園予定地2か所)の都市公園があり、そのほとんどが土地区画整理組合から名古屋市に移管されたものです。区画整理により多くの公園が適正に配置され、学区毎に公園が設けられているという、他区に比べて充実したものとなっています。



中島公園



本郷公園

区内の49の公園では公園周辺の住民の協力で「公園愛護会」が設立され、公園管理の適正と公共施設愛護精神の高揚を図るとともに、地域に密着した維持管理が行われています。

公園・緑地の整備にあたっては、これまでの量的拡大に加え、アイデア公園の整備(中島公園)など市民の意見を取り入れた公園の整備や、「花・水・緑」の施策に添った水景施設の整備(上社北公園、西山中公園)、「区の木・区の花事業」(本郷公園)、「野の花事業」(一社公園)など特色のある公園緑地の整備が進められています。このほかにも、花の名所公園として「スイレン」の咲く神丘公園があり、藤が丘周辺道路及び、香流川緑道には「サクラ」が植栽され、春には桜祭りが開催され広く市民に親しまれています。

また、有料運動施設である野球場やテニスコートのほかに手軽にスポーツを楽しんでいただけるようお年寄りのゲートボール等を対象としたミニスポーツ広場の整備(宝が丘公園、赤松公園など)、若者のテニスの壁打ちやサッカーゴールとして利用できるスポーツウォールやバスケットゴール、高鉄棒を備えたスポーツレクリエーション広場の整備(一社公園、明が丘公園など)や、散歩やジョギングの楽しめる健康散策園路整備(西一社中央公園、明が丘公園)が行われてきました。



赤松公園

第3章 教育と文化

1 学校教育

明治4年7月に「文部省」が設置され、同5年8月に「学制」が公布され、藩校・私塾・寺小屋は学校制度になり、近代教育が発足しました。同12年9月に「教育令」が公布され、明治19年には小学校を尋常科4年と高等科4年にして、尋常科の4年が義務教育となりました。明治33年に小学校の授業料徴収を廃し、同37年には国が教科書を作り、日本中の児童が同じ教科書を使うことになり、同40年に義務教育は6か年と決められました。

昭和22年、新憲法の下に「教育基本法」が公布されました。9年間の義務教育を掲げた、いわゆる、6・3・3制の教育制度をとり、小・中・高校の教科書検定制度を定め、男女共学になり、教育内容が大きく変わりました。同24年には、新制大学が発足しました。これによりいわゆる6・3・3・4制の新教育制度が始まり、現在に至っています。

名東区には、19の小学校と8の中学校、公立・私立高校が3校、1の私立短期大学があり、市立幼稚園が3園、私立幼稚園13園があります。

子どもたちの様子



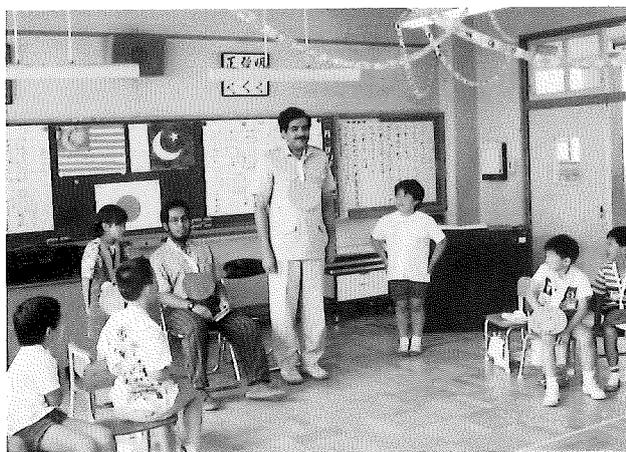
西山台幼稚園



香流小学校



藤が丘小学校



高針小学校



千種高校

名東区内 学校・幼稚園一覧

小学校

| | 名 称 | 所 在 地 (〒465) | 電 話 |
|-----|---------|--------------|----------|
| 市 立 | 西 山 | 西山本通り2-35 | 701-5181 |
| | 名 東 | 亀の井三丁目134 | 702-1166 |
| | 高 針 | 高針二丁目1103 | 702-2281 |
| | 猪 高 | 丁田町32 | 771-5101 |
| | 藤 が 丘 | 藤が丘54 | 771-4700 |
| | 香 流 | 香流二丁目1201 | 771-2171 |
| | 猪 子 石 | 猪子石二丁目1201 | 773-4361 |
| | 梅 森 坂 | 梅森坂四丁目201 | 702-1600 |
| | 蓬 来 | よもぎ台一丁目501 | 772-6791 |
| | 本 郷 | 本郷一丁目237 | 774-4125 |
| | 貴 船 | 貴船三丁目2301 | 703-3881 |
| | 極 楽 | 高針台三丁目901 | 703-5571 |
| | 上 社 | 上社五丁目1002 | 703-5421 |
| | 豊 が 丘 | 豊が丘1501 | 773-8757 |
| | 引 山 | 引山一丁目1105 | 774-2011 |
| | 平 和 が 丘 | 平和が丘一丁目1 | 775-0126 |
| | 前 山 | 牧の里二丁目1501 | 702-1361 |
| | 北 一 社 | 上菅一丁目101 | 776-8801 |
| | 牧 の 原 | 牧の原三丁目401 | 702-2100 |

高等学校

| | 名 称 | 所 在 地 (〒465) | 電 話 |
|-----|-----|--------------|----------|
| 市 立 | 名 東 | 大針一丁目351 | 703-3313 |
| 県 立 | 千 種 | 社台二丁目206 | 771-2121 |
| 私 立 | 東 邦 | 平和が丘三丁目11 | 782-1171 |

短期大学

| | 名 称 | 所 在 地 (〒465) | 電 話 |
|-----|---------|--------------|----------|
| 私 立 | 東 邦 学 園 | 平和が丘三丁目11 | 782-1241 |

中学校

| | 名 称 | 所 在 地 (〒465) | 電 話 |
|-----|-------------------|--------------|----------|
| 市 立 | 神 丘 | 神丘町1-18 | 701-1268 |
| | 高 針 台 | 勢子坊三丁目801 | 703-5121 |
| | 猪 高 | 丁田町33 | 771-0023 |
| | 藤 森 | 小池町66 | 774-2861 |
| | 猪 子 石 | 千種区千代が丘2-5 | 773-8881 |
| | 牧 の 池 | 梅森坂一丁目401 | 704-2051 |
| | 上 社 | 社が丘四丁目301 | 704-2235 |
| 香 流 | 猪高町大字猪子石原北川原837-3 | 776-8711 | |



東邦学園短期大学

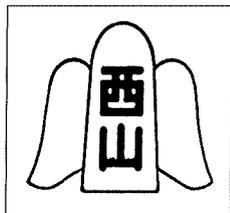
幼稚園

| | 名 称 | 所 在 地 (〒465) | 電 話 |
|-----|-------------|--------------|----------|
| 市 立 | 西 山 台 | 亀の井二丁目41 | 701-5286 |
| | 猪 高 | 丁田町33 | 773-2756 |
| | 梅 森 坂 | 梅森坂三丁目210 | 703-6644 |
| 私 立 | 愛 英 西 山 | 扇町1-73 | 782-1101 |
| | あ い わ | 神里二丁目168 | 701-4550 |
| | 名 古 屋 東 | 亀の井二丁目210 | 701-3191 |
| | 星 ケ 丘 | 名東本町20 | 781-0118 |
| | 高 針 | 高針台三丁目701 | 702-2982 |
| | 第 2 む ら く も | 大針三丁目344 | 703-5381 |
| | 上 社 | 上社五丁目301 | 703-0846 |
| | 東 名 | 藤森二丁目43 | 771-3877 |
| | 健 峰 | 小池町65 | 771-3001 |
| | 珉 光 | 平和が丘三丁目78 | 781-6420 |
| | よ も ぎ | よもぎ台一丁目101 | 773-0761 |
| | 愛 英 名 東 | 猪高町大字高針原56-1 | 701-3101 |
| | 東 第 三 貴 船 | 貴船三丁目2001 | 703-2134 |



上社中学校 (国際フォーラム)

名古屋市立 西山小学校



所在地 西山本通二丁目35
校長名 服部 一雄
開校年月日 昭和36年4月1日
教職員数 43人
児童数 905人



公団住宅を始め大きなマンションや社宅などの多い住宅の町で、全国各地からの転入児童も多くみられます。開校以来「仲よく・強く・正しく・明るく」を教育目標に掲げ、平成4年度からは、「心豊かな子を育てる」指導を目指しています。地域との結びつきを大切にし、学校に対する保護者の強い関心や多種多様な期待に応えられるよう努力しています。

また、PTA活動も盛んで、平成5年度には資源集団回収の功績を認められて県知事より表彰を受けています。

名古屋市立 名東小学校



所在地 亀の井三丁目134
校長名 久田 迪生
開校年月日 昭和45年4月1日
教職員数 50人
児童数 1,166人



本校は昭和45年西山小学校分校として開校し、昭和48年に名東小学校として分離独立しました。開校時は138人の児童数でしたが昭和56年には1,375人とピークを迎えました。ここ数年間児童数も学級数も市内では一番大きな学校です。

本校では、低学年と高学年が交流のもてる教育活動を進めると同時に、社会福祉協力校であることも伴って、地域のお年寄りや住民と触れ合い、思いやりのある児童の育成へと職員が一丸となって取り組んでいます。

名古屋市立 高針小学校



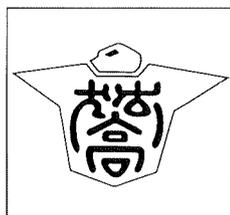
所在地 高針二丁目1103
校長名 酒井 秀房
開校年月日 昭和37年4月1日
教職員数 30人
児童数 502人



明治6年10月、東勝寺に設立された「啓迪学校」から幾多の変遷を経て、昭和37年4月に「名古屋市立高針小学校」として独立しました。

「豊かな人間性をもつ児童の育成」を目指し、外国の方々や老人ホームとの交流、国連組織への協力を行っています。平成6年にも名古屋国際研修センターの研修員を招いての「一日交流会」「七夕祭」と老人ホームへの訪問を行いました。また、韓国、オーストラリア、ブラジルの学校と作文や絵画を交換し、交流を深めています。

名古屋市立 猪高小学校



所在地 丁田町32
校長名 太田 幸男
開校年月日 明治45年2月1日
教職員数 34人
児童数 675人



猪高小学校は、83年の伝統ある歴史を持ち、当時からの自然を残しながら整備された池と林には、アヒルが放し飼いにされ、訪れる鳥が観察できるなど愛鳥校として指定されています。

また、本校は、体力づくり・健康教育を継続実践し、児童は屋外で元気よく運動し、遊んでおり、心身ともに健康で活力ある学校生活を送っています。

平成6年秋には、「わかしゃち国体」の開会式、ならびに「全国身体障害者スポーツ大会」の開会式に、小学生部門集団演技校として華を飾りました。

名古屋市立 藤が丘小学校



所在地 藤が丘54
校長名 安藤 久之
開校年月日 昭和48年4月1日
教職員数 42人
児童数 908人

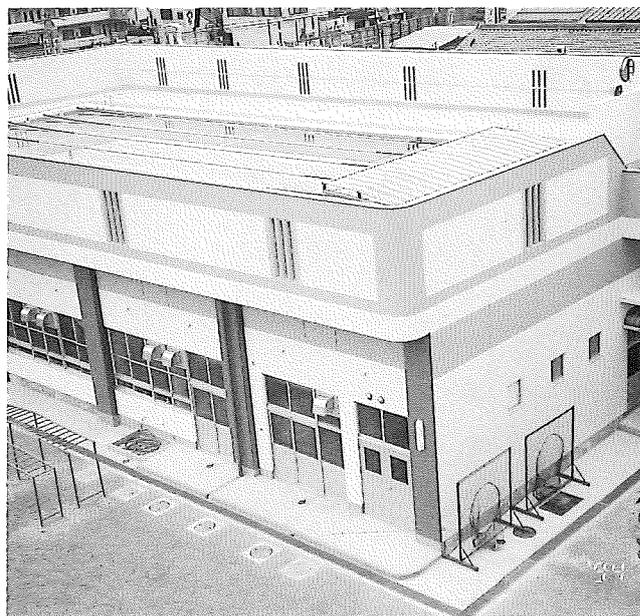


全国から人の集まる藤が丘、その様子は写真の「ほくやわたしのうまれたところ」を示す日本地図で一目瞭然です。転出入が非常に多い本校では、第二の故郷として転校しても忘れられない学校になるよう配慮しています。児童会は、「子ども祭り」「留学生との交流会」等多くの行事を企画運営しています。それらの行事の中で、友達や家族、学区の方々、外国の人々との出会いやふれあいを大切にして、活気のある学校生活を目指し活動しています。

名古屋市立 香流小学校



所在地 香流二丁目1201
校長名 森 幹雄
開校年月日 昭和38年4月1日
教職員数 38人
児童数 715人

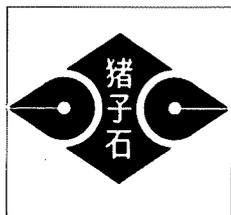


本校では、将来児童の増加が見込まれるため、平成6年度教室の増築に伴い、その屋上にプールができました。その下には既設の小プールと一体化した活用のできる多目的室があります。

また学校では、以前より一人一鉢運動が盛んで、平成6年は学年別にオクラやミニトマト等をつくっています。

学区の中央には、桜で有名な香流川があり、農地や森林も多くて豊かな自然がいっぱい残っています。猪子石村の起源となった猪子石神社、資料館のある神明社も学区の中にあります。

名古屋市立 猪子石小学校



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 猪子石二丁目1201 |
| 校長名 | 中村 克彦 |
| 開校年月日 | 昭和48年4月1日 |
| 教職員数 | 31人 |
| 児童数 | 627人 |

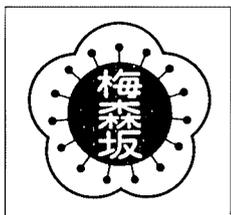


香流小学校の分校として開設され、昭和48年に独立しました。猪子石の丘からは、遠く東山スカイタワーが望め、学校の東には猪高配水塔が隣接し、さらに東に明德公園が広がっています。

本校では、豊かな情操を育てるために、七夕まつりには多くの外国の人を招待し交流を深めています。また一人一鉢ずつの植物も大切に育てています。

学区との結びつきは強く、夏の盆踊り、秋の学区運動会、冬の親子もちつき大会などの行事が本校で行われ、学区中の人に参加します。

名古屋市立 梅森坂小学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 梅森坂四丁目201 |
| 校長名 | 阪 敬一 |
| 開校年月日 | 昭和48年4月1日 |
| 教職員数 | 24人 |
| 児童数 | 312人 |



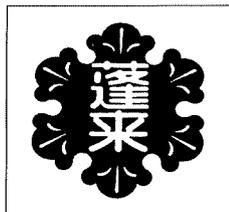
本校は、名東区の南東に位置し、緑の多い閑静な環境のよい地域にあります。

学区には、国立東名古屋病院を挟んで、東に1,200世帯の市営梅森荘、西に400世帯の県営梅森坂住宅があります。昭和46年4月に、今の天白区植田小学校の分校として開校し、48年4月に独立開校しました。その後、50年から名東区に仲間入りしました。

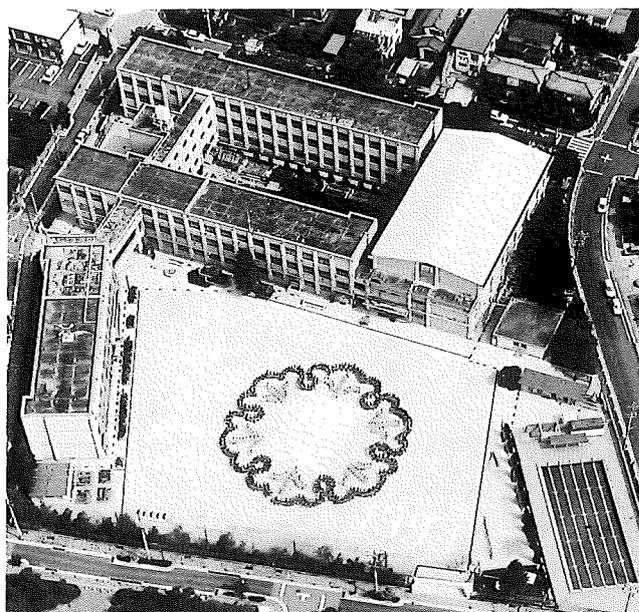
学校に通う児童は、素直で明るく元気の良い子ばかりです。

学区に住まれる方々も、学校に対して協力的です。

名古屋市立 蓬来小学校



所在地 よもぎ台一丁目501
校長名 塚原 茂喜
開校年月日 昭和50年4月1日
教職員数 33人
児童数 613人



本校は、平成6年に開校20周年目を迎え、11月には開校記念式典を行いました。

年間の学校行事計画には、観劇会・映画会・七夕集会など、楽しく参加でき夢がふくらむ行事と、体育集会・音楽集会など、確かな力を高める常時活動が位置付けられています。

子供たちは、「強く・仲よく・根気よく」を合い言葉に、運動場の大きなメタセコイアの木のように、明るく伸び伸びと毎日を過ごしています。

名古屋市立 本郷小学校



所在地 本郷一丁目237
校長名 富野 恭次
開校年月日 昭和53年4月1日
教職員数 29人
児童数 521人



昭和53年創立の本校は、地下鉄本郷駅近くに位置し、交通至便で児童の転出入が激しく、それを受け入れる体制も整っているためか、いじめ等の現象は皆無といいでしょう。

校舎は傾斜地をうまく利用した4階構造で廊下が広く、コンピュータールーム2室を備え、教室配置にも工夫をこらしています。

特色としては、児童の意識と本郷カラーを表すために、空色のチロリアンハットを正帽と定め、みんなが愛用しています。

名古屋市立 貴船小学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 貴船三丁目2301 |
| 校長名 | 横井 寮吉 |
| 開校年月日 | 昭和54年4月1日 |
| 教職員数 | 34人 |
| 児童数 | 661人 |



本校は、高針小学校北分校が独立した歴史の新しい学校です。「なかよくする」「すすんでする」「がんばりぬく」の校訓のもと、PTAや学区との連携を大切にしながら、主体的に学ぶ力の伸長や年賀状などを通したお年寄りとのふれあいをはじめ、人間性豊かな実践力のある子どもの育成に努めています。子どものための環境づくりとしては、運動場の壁画、なかよし広場、中庭のせせらぎ（いきいきスクール推進プラン）などが整備されています。

名古屋市立 極楽小学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 高針台三丁目901 |
| 校長名 | 浅井 睦 |
| 開校年月日 | 昭和55年4月1日 |
| 教職員数 | 31人 |
| 児童数 | 584人 |



4階建てツートンカラーの校舎を見て正門に入ると、学区内が立体的に分かるように「ぼくとわたしの家と町」が作ってあります。また、自分の影法師で見る「日時計」や、「なかよし」の塑像が、校訓碑や庭園と違和感がないように配慮して作ってあります。

中庭の「ふれあいひろば」には、大きな風車をメインにして、キウイ棚と屋外教室が作ってあり、児童が盛んに使っています。室内では、コンピュータを整備し、学校の努力点に取り上げて、児童も教師もよく使っています。

名古屋市立 上社小学校



所在地 上社五丁目1002
校長名 西村 晃
開校年月日 昭和54年10月31日
教職員数 34人
児童数 666人



開校15年を迎えた本校は、今なお歴史と伝説が伝えられる丘陵地に位置しています。その歴史と伝説は、他に類を見ないどん帳の図柄に表現され、子供たちに語り継がれています。

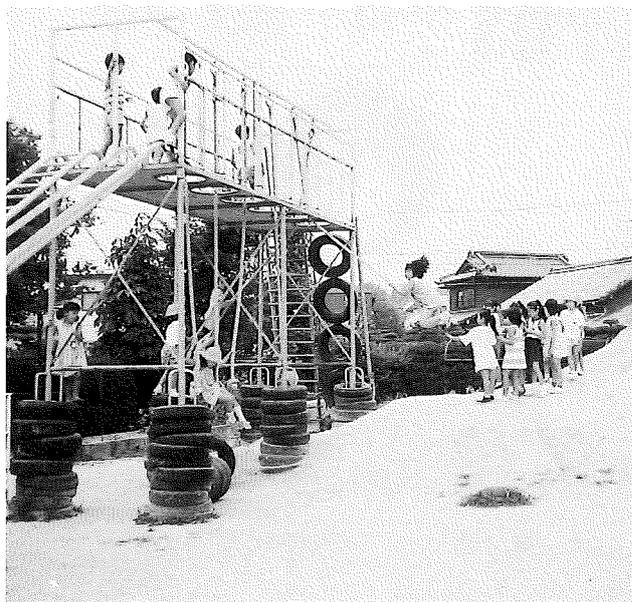
校内には著名な芸術家による書、絵画、陶器、塑像が展示され、子供たちの感性を高める一役を担っています。

「教育は環境なり」を合い言葉にして、学区の方々と教職員が一丸となった力を上社小の教育へ集結させています。今、上社っ子は、互いに心を触れ合わせながら一層響き合っています。

名古屋市立 豊が丘小学校



所在地 豊が丘1501
校長名 若林 昌子
開校年月日 昭和55年4月1日
教職員数 23人
児童数 296人



本校は、名東区の北東部を流れる香流川の南方に広がる丘陵地に位置し、12学級の規模の学校です。

校舎の南側には、大きな土山とコンビネーション遊具を配置した「豊が丘いきいきランド」があります。放課になると、タイヤ遊び・ターザンごっこ・山登り・トンネルを使っの遊びなど工夫した遊びが見られ、子供たちにとって人気のある場所となっています。

児童のアイデアを取り入れた「いきいきスクール推進プラン」事業により改良予定です。

名古屋市立 引山小学校

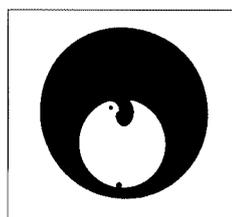


所在地 引山一丁目1105
校長名 後藤 昌司
開校年月日 昭和55年4月1日
教職員数 33人
児童数 608人

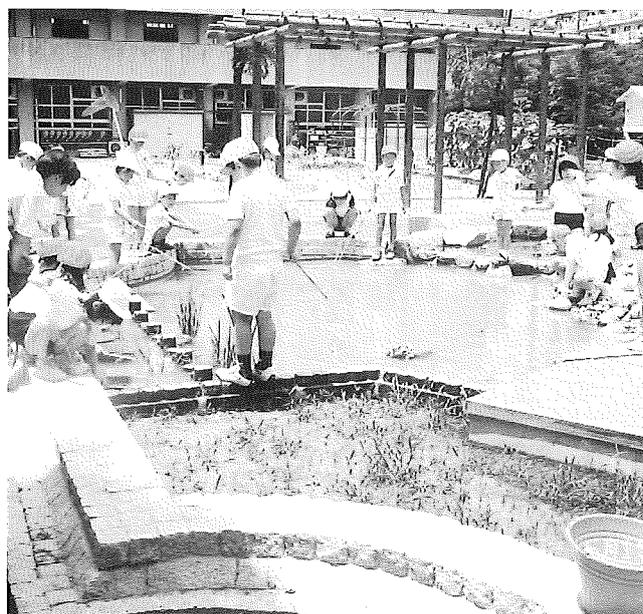


本校では、子供たちがもっている力を精一杯出し合う中で、互いに励まし合える豊かな心を育もうと取り組んでいます。特に、児童会活動では、「みんなの役に立とう」と始めたアルミ缶回収運動や1～6年縦割りの「引山まつり」等が汗一杯に展開されています。また、各学年では、「自らの力を発揮しよう」と自分自身で考え、準備し、実行できる活動にと「グループ探検発表会」「学年オリンピック」といった手づくりの活動に力を注ぎ、「いきいき引山っ子」を目指して頑張っています。

名古屋市立 平和が丘小学校



所在地 平和が丘一丁目1
校長名 菱田 功
開校年月日 昭和55年4月1日
教職員数 31人
児童数 503人



校名は、学区の大部分を占める平和が丘の町名から平和が丘小学校と名付けられました。校章の赤い円形は、太陽の情熱を表し、白いはとは、平和のシンボルを表しています。

本校の特徴として、昭和59年に開園された「学校公園」と、平成5年のいきいきスクール推進プランで新設された「じゃぶじゃぶ小川や池」をあげることができます。樹木をはじめ、草花、木の実、昆虫、小川や池に生息する植物や動物と身近にふれあうことができます。

名古屋市立 前山小学校



所在地 牧の里二丁目1501
校長名 小川 寛
開校年月日 昭和57年4月1日
教職員数 31人
児童数 633人



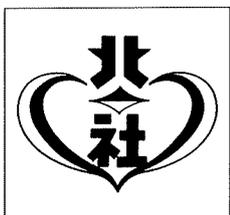
昭和57年4月、高針小学校より分離独立し、開校13年を迎えました。

名東区の南の端、牧野ヶ池緑地の北側に位置し、緑が多く、恵まれた自然環境にあります。

平成5年度には「学校保健優良校」「学校図書館奨励賞」「科学工作コンクール学校賞」を次々と受賞いたしました。

今後、さらに、図書館指導を学校教育努力点とし、よさや可能性を伸ばし、主体的に学んでいこうとする心豊かな児童の育成を目指しています。

名古屋市立 北一社小学校



所在地 上菅一丁目101
校長名 小林 史朗
開校年月日 昭和63年4月1日
教職員数 31人
児童数 561人



明るくおしゃれな校舎・心豊かな児童にふさわしい校歌。「元気いっぱいの子・いつも笑顔の子・明るく伸びやかな子・思いやりに満ちた子」すてきな子どもたちがいっぱいです。

昭和63年に開校し、7年目を迎えるまだまだ若い学校ですが、北一社小学校は、児童とともに未来に向かって伸びつつあります。

学区の方々の北一社小学校に対する想いは、とても深く、学校・児童の成長をあたたく見守り、支えていただいています。

名古屋市立 牧の原小学校



所在地 牧の原三丁目401
校長名 八神 信治
開校年月日 昭和63年4月1日
教職員数 22人
児童数 287人



本校では、次の行事を通して思いやりのある心豊かな子供の育成に力を入れています。

- (1) 春のウォークラリー・遠足・異学年との交流
- (2) 学区の老人へ・敬老の日の手紙書き、学芸会への招待、年賀状書き
- (3) 親子のふれあいを・みんなで笑おうパーティー（児童会行事）への招待、運動会・授業参観の土曜日実施、親子観劇会
- (4) 一日先生として地域の方を招く
- (5) 開校以来の音楽集会（毎週木曜日に実施）

名古屋市立 神丘中学校

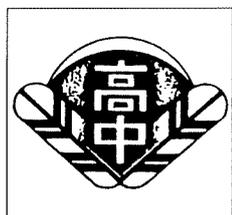


| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 神丘町1丁目18 |
| 校長名 | 副田 雅紀 |
| 開校年月日 | 昭和36年4月4日 |
| 教職員数 | 44人 |
| 生徒数 | 896人 |



平成6年度、神丘中は24学級です。4、5年前と比較して余剰教室が増え、生徒相談室・集会室・コンピュータ室、第2図書室等として、生徒活動が活発に行える環境に変わってきました。図書室は現在、コンピュータによる図書管理を行い、生徒や職員が利用しやすい環境整備が進められています。また、生き生きスクールの景観工事でフレンドパークが完成し、放課の時間や授業後に、生徒が団らんする姿が見られ、大変楽しそうです。

名古屋市立 高針台中学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 勢子坊三丁目801 |
| 校長名 | 山田 明彦 |
| 開校年月日 | 昭和49年4月1日 |
| 教職員数 | 39人 |
| 生徒数 | 789人 |



神丘中学校から独立して、平成6年に一足早く20周年を迎えました。

「明るくたくましい子」の育成を基本に、自主的に活動できる子をめざしています。

11月に行われる音楽会は、学年ごとの合唱コンクールで、美しいハーモニーを響かせます。勤労会館が歌声一色に染まります。

さらに、体育大会や学年行事の稲武野外学習や修学旅行、生徒会活動の中でも自主性を培い、21世紀に主体的に生きる生徒を育てています。

名古屋市立 猪高中学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 丁田町33 |
| 校長名 | 池田 元 |
| 開校年月日 | 昭和22年4月1日 |
| 教職員数 | 42人 |
| 生徒数 | 831人 |

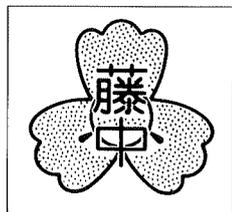


生徒たちは、恵まれた環境の中で、のびのびと生活し、充実した日々を送っています。

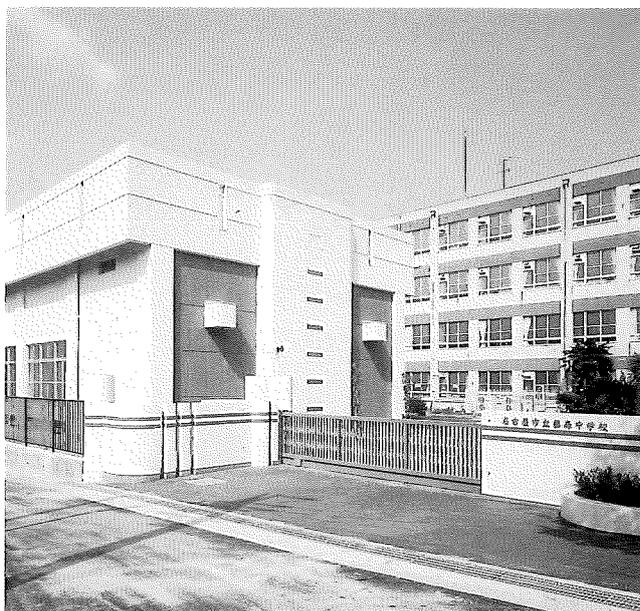
自主性と協調性を育てるため、生徒会や委員会の活動を活発にし、球技大会、体育大会、音楽会などの行事に取り組んでいます。

授業では、一人ひとりの生徒の興味・関心や個性に応じた指導に心がけています。特に、選択教科の学習では、多様な講座を開講した中から、自分の興味・関心の強いものを選択し学習に取り組ませています。

名古屋市立 藤森中学校

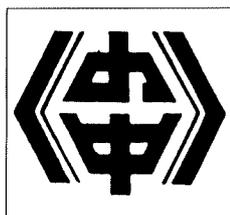


| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 小池町66 |
| 校長名 | 名倉 治男 |
| 開校年月日 | 昭和55年4月1日 |
| 教職員数 | 35人 |
| 生徒数 | 754人 |



本校は開校以来、「人間性豊かな生徒の育成」を目指して生徒の自主的・実践的な活動を重視した指導を進めています。生徒会・委員会を中心として、活動テーマを次のように決めました。平成2・3年度「花いっぱい、喜びいっぱい運動」、4年度「地球にやさしく、リサイクル運動」、5年度「希望の光キャンペーン」へと活動を発展させました。平成6年度は「今！何故福祉なのか。」を目標とし、老人介護施設訪問や地域清掃を行っています。これらの活動を通して、思いやりの心が生徒に育まれています。

名古屋市立 猪子石中学校



| | |
|-------|-------------|
| 所在地 | 千種区千代が丘2番5号 |
| 校長名 | 梶山 孝雄 |
| 開校年月日 | 昭和52年4月1日 |
| 教職員数 | 39人 |
| 生徒数 | 669人 |



平成8年度には20周年を迎える本校は、千種区の東端に位置し学区が一望できる丘の中腹にあります。校内には緑も多く恵まれた教育環境の中で、学習・生徒会・部活動等に熱心に取り組む生徒の姿をみることができます。

生徒が主体的に活動する場面が多く各行事ごとに実行委員会を組織して取り組みます。生徒が創る学年・学校行事の推進をめざし生徒の手による企画運営で自主的な態度が育っています。また、美しい環境の維持に努める心情を育てることも大切にしています。

名古屋市立 牧の池中学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 梅森坂一丁目401 |
| 校長名 | 野々目 康男 |
| 開校年月日 | 昭和59年4月3日 |
| 教職員数 | 32人 |
| 生徒数 | 587人 |



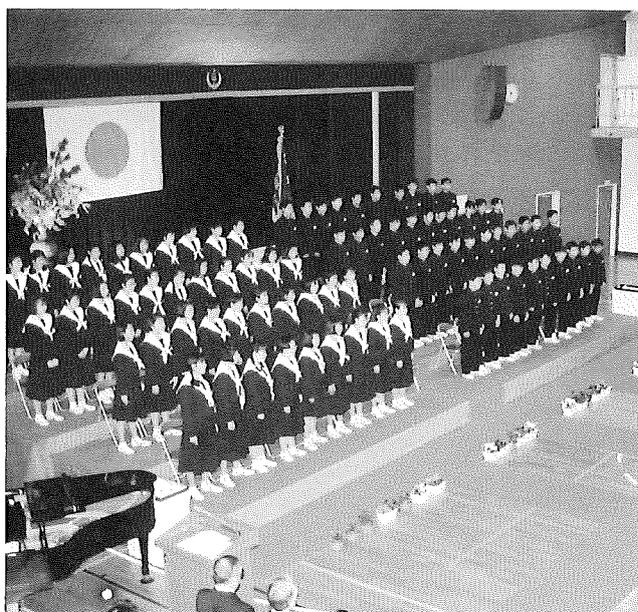
本校は名古屋市東のはずれに位置し、近くに牧野ヶ池緑地をひかえ、緑が多く、静かな環境に恵まれています。教育目標は、「活力ある生徒の育成」で、自主性・主体性・協調性を3つの柱にして日々努力を重ねています。具体的には、あいさつ運動・リサイクル運動・校内クリーン運動等で、生徒会が中心になり、全校生徒へ呼びかけ、自主的な活動を実践しています。

また、平成5年より、スクールランチが実施され、ランチルームで合同の楽しい昼食のひとときを過しています。

名古屋市立 上社中学校



所在地 社が丘四丁目301
校長名 中村 順藏
開校年月日 昭和60年4月1日
教職員数 21人
生徒数 271人



本校は、名古屋の東玄関、東名高速のインターのすぐ南に位置します。猪高中学校より独立開校した、全9学級の小じんまりと落ち着いた学校です。

開校の精神「国際的な視野に立った人間性をそなえ——心身ともにたくましい生徒の育成」を受け継ぎ、国際理解教育を柱の一つにしています。毎年、国際研修センターの研修員と「国際フォーラム」と称して、交流会を行っています。平成6年度の開校10周年には、開発途上国の学校建設支援に生徒会とPTAが取り組んでいます。

名古屋市立 香流中学校



所在地 猪高町大字猪子石原
字北川原837-3
校長名 勝田 優
開校年月日 昭和61年4月1日
教職員数 35人
生徒数 591人



昭和61年4月、猪子石中学校、猪高中学校から分離独立し、平成7年に創立10周年を迎えます。位置は矢田川のすぐ南で、守山区と接しています。学校周辺は平成10年完成予定の宅地造成工事が進行中であり、将来の街並が期待されています。

生徒の約7割が部活動に参加しており、授業後の運動場や体育館は生徒の活気があふれています。生徒会活動では「積極的に参加し、共に分かち合う喜びを育てよう」をテーマに掲げ、各種の行事や奉仕活動を通して、自主性や健康で心豊かな感性の育成に努めています。

名古屋市立 名東高等学校

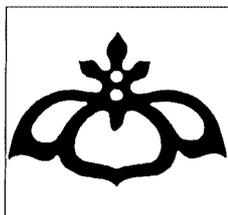


所在地 大針一丁目351
校長名 池戸 明
開校年月日 昭和59年4月1日
教職員数 76人
(非常勤を含めて84人)
生徒数 1,260人

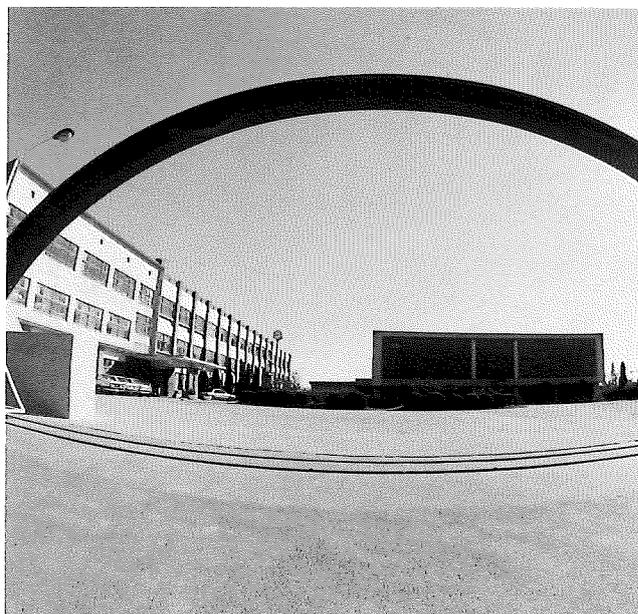


開校10年の若い学校ですが、閑静な周辺環境と恵まれた施設、自主独立の精神による自由な校風、盛んな国際交流活動などで、地域からも高い評価を受けています。普通科と英語科を併設し、英語科には全県的な応募があり、海外帰国生徒も受け入れています。また、アメリカ人教師の授業も名東の魅力です。進学実績も上り、陸上・演劇・放送・能楽研究部などが全国大会に出場して活躍しています。紺のスーツ、白黒千鳥格子のスカートとベストという制服にも人気があります。

愛知県立 千種高等学校



所在地 社台二丁目206
校長名 高嶋 敬
開校年月日 昭和38年4月1日
教職員数 89人
生徒数 1,273人



自主・自律をモットーに、創造性豊かで協調と責任を重んじる積極的な生徒の育成を心がけています。また、異文化に対する理解を深め、将来国際社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざして国際教養科も併設されています。立地条件にも恵まれ、明るく伸びやかな校風です。その中で、どの生徒も、精いっぱい自分の力を伸ばしています。卒業生は「千種が好きだ」「千種で学べたことに誇りをもつ」といってくれます。

東邦高等学校



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 平和が丘三丁目11 |
| 校長名 | 則竹 昌常 |
| 開校年月日 | 大正12年4月1日 |
| 教職員数 | 171人 |
| 生徒数 | 2,038人 |



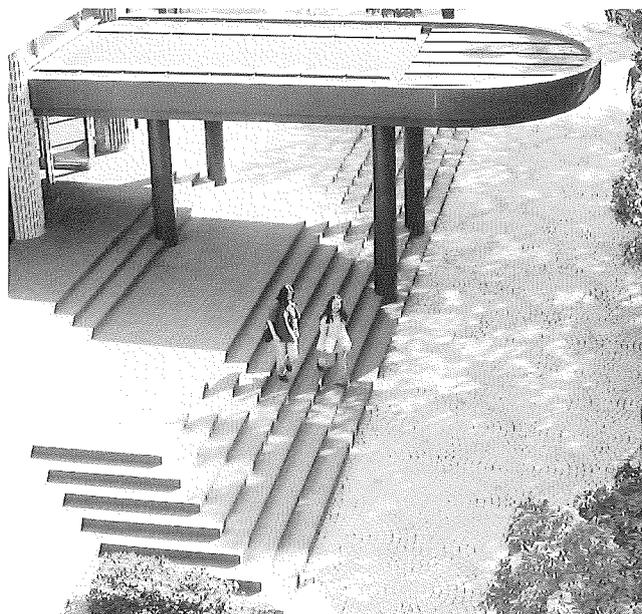
1971年に現在地に移転し、水泳教室や剣道教室、英会話と中国語の市民講座の実施など、地域の皆さんと共に歩む学校作りを目指してきました。

いち早く男女共学を実施し、その後国際・理数コースの設置、美術科の新設による総合的な学校となりました。野球・水泳・吹奏楽・空手道など全国レベルの部活動も少なくありません。

ニュージーランドと南京に姉妹校を持ち、交換留学やホームステイ・修学旅行などで年間300名近い生徒が海外に出かけるなど国際交流も活発です。

東邦学園短期大学

| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 平和が丘三丁目11 |
| 校長名 | 島津 康男 |
| 開校年月日 | 昭和40年4月23日 |
| 教職員数 | 46人 |
| 生徒数 | 1,124人 |



本学は、平和が丘の緑豊かな丘陵地に1965年設立され、以来、一貫して少人数教育を重視した実践的なビジネス教育を推進しております。現在、商経科と1992年に開設された経営情報科の二学科体制のもと、現代におけるビジネスの専門化と多様化に、よりの確に対応した教育を行うことに力を置いています。1994年度からは、21世紀の実務に強くなるため、特別教室での情報処理教育に代わって、新入生全員にサブノートという軽いパソコンを貸与し、何時でも又自宅でも「情報の読み書き」を身につけることを目指しています。

名古屋市立 西山台幼稚園



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 亀の井二丁目41 |
| 園長名 | 中村 茂乃 |
| 開設年月日 | 昭和43年4月1日 |
| 教職員数 | 10人 |
| 園児数 | 160人 |



子供の明るい声が、園内に響きます。

積み木やぬいぐるみ、ままごとやカーペットで自分たちの気に入った場所におうちを作ります。通園かばんも学校のお姉さん役のランドセルに早替わり、友達と一緒に遊びます。

砂や水で思う存分体を使って遊び、心地よさを感じています。

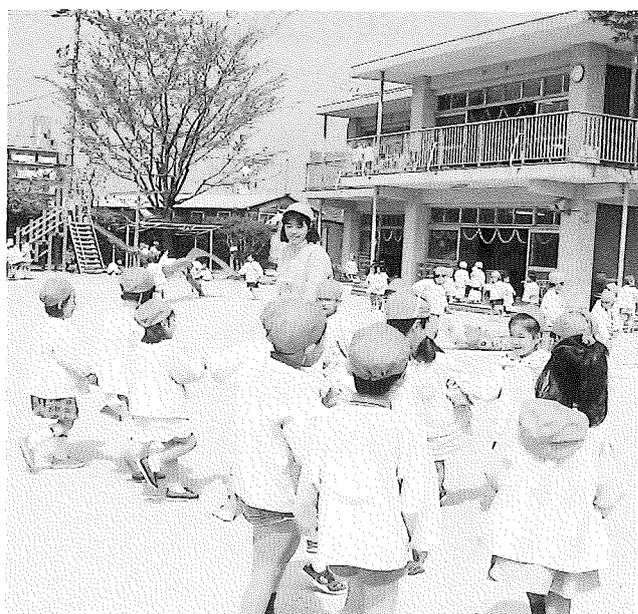
友達とすごす楽しさがいっぱいの西山台幼稚園の子供たちの生活です。

21世紀に生きる子供たちに「豊かな心とたくましく生きる力」を育てたいと願っています。

名古屋市立 猪高幼稚園



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 丁田町33 |
| 園長名 | 水谷 澄江 |
| 開設年月日 | 昭和50年4月1日 |
| 教職員数 | 9人 |
| 園児数 | 210人 |



昔、丁田山と呼ばれた小高い丘の上にある幼稚園です。広い園庭で、走りまわる子供たちの目は輝いています。サッカーや鬼ごっこなどをしながら大好きな教師や友達と一緒に体を動かす楽しさを味わっています。

平成4年度には名古屋市教育委員会の委託を受け「自分の思いを出しながら友達とかかわって生活する子供をめざして」というテーマで研究を進めました。子供と遊ぶ中で、一人一人の思いを的確にとらえ援助していく教職員でありたいと願い日々努力しています。

名古屋市立 梅森坂幼稚園



所在地 梅森坂三丁目210
園長名 桑名 満洲雄
開設年月日 昭和52年4月1日
教職員数 6人
園児数 67人



近くに牧野ヶ池緑地を臨み、自然に恵まれ、四季折々の変化を肌で感じながら、毎日親子で登降園しています。一日中元気に、サッカー・どろんこ・積み木・ままごと・製作などで遊びます。自分で決めた遊びを友達と楽しみ笑ったり怒ったりしながら、子供たちは集団生活に必要な思いやりやたくましさを培います。また、生活する中で物を創り出す力、自分のことは自分でする力、友達と助けあって行動する力を育てています。職員・園児・保護者全員が非常に仲良くして「家庭的な幼稚園」です。

愛英西山幼稚園



所在地 扇町1丁目73
園長名 松永 英子
開設年月日 昭和36年4月1日
教職員数 11人
園児数 163人



緑豊かな文教区域、西山住宅の中心にあり近郊のご家庭から本園に通っている園児が多数おります。

本園では最新の教育システムを導入した知育、やさしい思いやりのある子を育てる徳育、そして年間を通しての温水プールでの水泳指導を始めとする体育のバランスのとれた教育を実践しています。

平成7年早々に園舎が新築完成する予定です。より恵まれた教育環境の中で、園児達の豊かな心の育成をめざしていきます。

あいわ幼稚園



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 神里二丁目168 |
| 園長名 | 大根 義男 |
| 開設年月日 | 昭和41年4月8日 |
| 教職員数 | 24人 |
| 園児数 | 254人 |



平成5年3月に園舎を全面改築し、園舎壁面には「からくり時計」を設置しました。

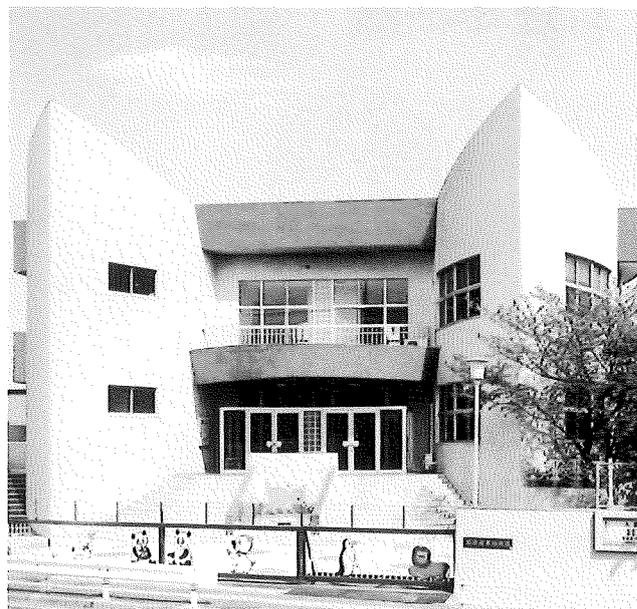
きめ細かな保育を目指し、保育者の目が園児たち一人ひとりに十分行き届くように、少人数制を基本として保育を行っています。日常の基本的なしつけ及び薄着を奨励した体力作りなどに力を入れています。

それぞれの個性をのびしながら、明るくのびのびとした子どもを育成していくために教職員一同、頑張っています。

名古屋東幼稚園



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 亀の井二丁目210 |
| 園長名 | 八幡 芳子 |
| 開設年月日 | 昭和42年4月1日 |
| 教職員数 | 12人 |
| 園児数 | 184人 |



学校法人名古屋東学院は、昭和42年4月に開園し、①名古屋東幼稚園②東第二幼稚園③東第三貴船幼稚園と三園を姉妹園として一番目に設立された園です。本園の教育方針は「より明るくより健康に」をモットーにすぐれた素質をもって生れた子ども達がいっそう、ただしく、あかるく、たくましく成長するよう職員一同やさしさ暖かさをもって教育に当たっております。本園では幼児の発達段階に適した望ましい体験や活動を中心に、子供同士のふれ合いを大切に、生活の中で社会性や協調性を培うことに努めています。

星ヶ丘幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 名東本町20 |
| 園長名 | 吉田 教行 |
| 開設年月日 | 昭和35年7月22日 |
| 教職員数 | 11人 |
| 園児数 | 173人 |



日当たり風通しのよい小高い地に位置し、自然の環境にめぐまれた敷地(3,305㎡)に樹木に囲まれた広い運動場(1,985㎡)で園児の声がこだましています。

幼児期の教育は、園児の一生にとって最も大切です。遊びを通して社会性を身につけ、豊かな情操を養い、「明るく、正しく、仲よく」の生活をおくり、愛と感謝の精神をもって社会に進んで奉仕する人間の形成を目的とする教育理想ををかけて心の芽を育てたいと思っています。

高針幼稚園



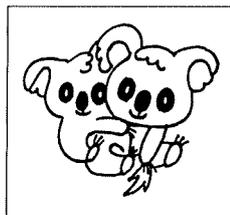
| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 高針台三丁目701 |
| 園長名 | 岩井 つる子 |
| 開設年月日 | 昭和50年4月1日 |
| 教職員数 | 20人 |
| 園児数 | 382人 |



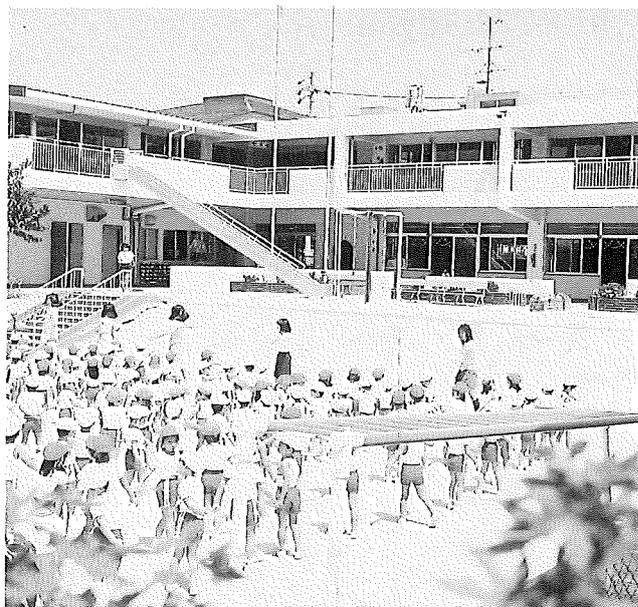
昭和50年の開園で、平成7年に20周年目を迎えました。「元気で明るい素直な子ども」の育成を目指して、日々の保育に取り組んでいます。

幸い立地環境に恵まれ、野菜果樹の両園をもち、観察や世話をして給食時には新鮮な野菜一品としています。また、年長組は、毎年4月鼓笛隊を編成して練習を開始、運動会に発表し喝采を受けています。平成5年には「名東福祉まつり'93」、「バンドフェスティバル」にも参加して、日頃の練習の成果を発表しました。

第2むらくも幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 大針三丁目344 |
| 園長名 | 愛知 靖磨 |
| 開設年月日 | 昭和54年2月19日 |
| 教職員数 | 20人 |
| 園児数 | 290人 |

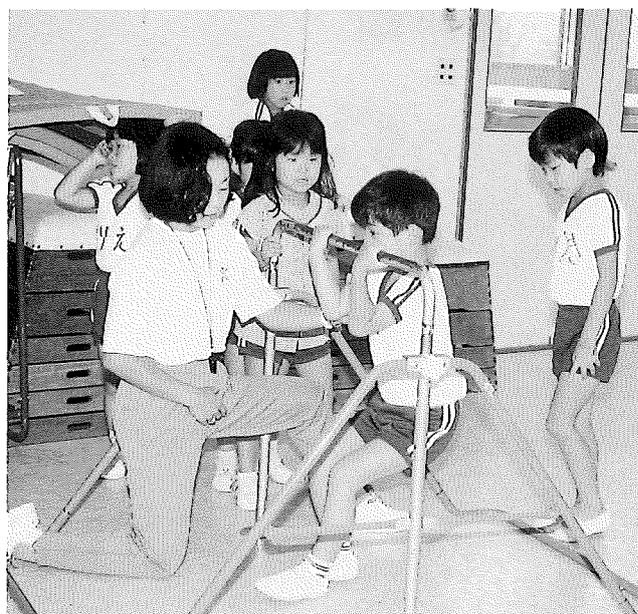


本園は、昭和25年に設立された昭和区村雲幼稚園の四十余年の幼児教育の歴史と経験を踏まえ、昭和54年、当地に地域の特性に合った幼児教育を目指し開園しました。家庭との連絡を密にとりながら、正しい躰、礼儀作法を施し、強く明るい人格の形成と個性の伸長を計ることを目標としています。給食も大切な保育の一部として、献立から調理まで全て園内で行う「完全給食」を実施し、栄養のバランスをとりながら、暖かい物を食べられるよう努力しています。

上社幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 上社五丁目301 |
| 園長名 | 加藤 幸司 |
| 開設年月日 | 昭和53年2月21日 |
| 教職員数 | 20人 |
| 園児数 | 373人 |



「かしこく、心やさしく、心身共に強い子に」を教育目標に、心も体も知能もバランスのとれた子供を育てることをめざしています。のびのびとした中にも礼儀正しく、集団生活の中で約束を守り、感謝する気持ちを育てます。何事にもチャレンジする強い心と体を養うため専門講師による体育指導や年長になるとスイミング指導を行っています。一人一人の子供の心を大切に暖かい心を伝えるため運動会や生活発表会等のプログラムは既製品に頼らず手作りでごんばっています。

東名幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 藤森二丁目43 |
| 園長名 | 水野 善夫 |
| 開設年月日 | 昭和45年3月19日 |
| 教職員数 | 22人 |
| 園児数 | 450人 |



名古屋市東部の田園地帯として夏は涼しくセミやトンボ採り、川や池での水泳にと大変自然に恵まれた静かな農村地帯でした、昭和40年頃から始まった区画整理事業によって町づくり事業がどんどん進展しました、その中で最も必要とされるのは幼児教育です。明るく恵まれた自然の環境を十分に生かし、何事にも積極的に取り組み、粘り強く頑張る子供、動植物を愛し豊かな情操を養い、更に科学性の芽生えを育て創造性豊かな子育てを目標に教職員一同が心を合わせ頑張っている子供の園です。

健峰幼稚園



| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 小池町65 |
| 園長名 | 岡田 一忠 |
| 開設年月日 | 昭和46年4月6日 |
| 教職員数 | 21人 |
| 園児数 | 416人 |



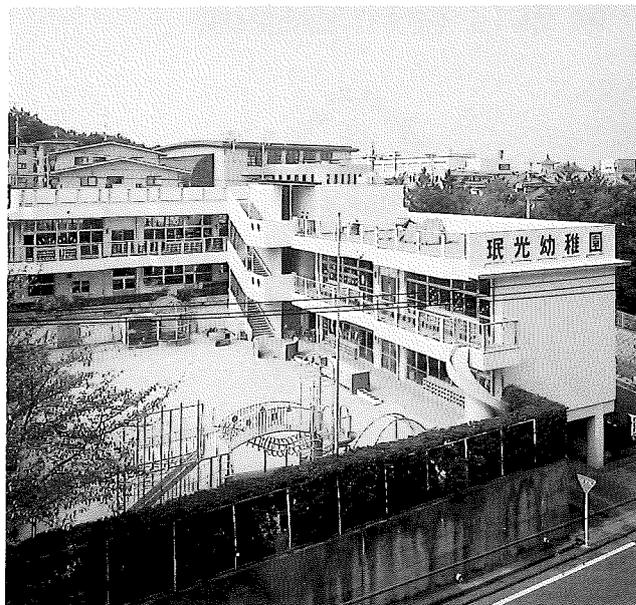
幼稚園は命をあずかり、心を育てるところです。その育てるべき心とは現代の子どもにもっとも欠けている「思いやり」「自立」であると考え子どもたちが楽しく、自主的なあそびが展開できるよう援助し子どもの伸びようとしている芽を摘むことがないよう子どもと共に育ち、子ども同士も育ちあうように心がけています。

以上のような目標を掲げどの子ども、じょうぶで明るく、すなおにのびのびとした子どもに育つよう願っています。

珉光幼稚園

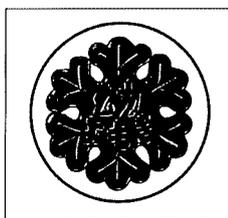


| | |
|-------|-----------|
| 所在地 | 平和が丘三丁目78 |
| 園長名 | 小櫻 秀世 |
| 開設年月日 | 昭和49年4月1日 |
| 教職員数 | 15人 |
| 園児数 | 240人 |



創立は昭和15年。中区丸の内二丁目（当時菅原町）の真宗大谷派・珉光院の境内地内で社会に開く「寺院の窓」として設立されました。17年4月には正式に幼稚園として認可されましたが、20年3月19日の名古屋空襲で寺の堂宇と共に幼稚園舎も焼失。その後24年4月に宗教法人・珉光院幼稚園として再開園しました。48年12月にここ名東区の丘陵地「平和が丘」に移り、翌年4月より、装いも新たに学校法人・珉光幼稚園として発足し現在に至っています。

よもぎ幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | よもぎ台一丁目101 |
| 園長名 | 猿渡 美智子 |
| 開設年月日 | 昭和53年2月21日 |
| 教職員数 | 13人 |
| 園児数 | 285人 |



区制20年、その間には国際情勢も社会情勢も随分変わりました。人間の長い人生から見れば幼稚園とは誠に短かい東の間の人生、短かいからこそ刻々と変容する社会に左右されず伸び伸びと大らかに育ててほしいと願っています。どんなに時代が変わっても変ることのない人の本性を大切に、優しい子、逞ましい子、何事にも興味を持って聞いてみよう、やってみよう、悪戯もいっぱい、友達もいっぱい、この時期に作ってほしいと願っています。

東第3貴船幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 貴船三丁目2001 |
| 園長名 | 堀 英世 |
| 開設年月日 | 昭和55年3月17日 |
| 教職員数 | 8人 |
| 園児数 | 136人 |



学校法人名古屋東学院は、八十数年の歴史を有する名古屋西幼稚園のよき伝統を受け継ぐ姉妹園です。
名古屋東学院第三番目の幼稚園として、昭和55年4月に開園しました。

開園以来、「より明るく、より健康に」をモットーに、すぐれた素質をもって生まれた子一人一人に目を注ぎ、心のふれ合いを大切にしながら、発達段階に適した多様な体験活動を通して、心身の調和のとれた発達、豊かな感性と創造性の基礎づくり、社会性や協調性の育成に努めています。

愛英名東幼稚園



| | |
|-------|------------|
| 所在地 | 猪高町高針原56-1 |
| 園長名 | 松永 充政 |
| 開設年月日 | 昭和55年4月1日 |
| 教職員数 | 11人 |
| 園児数 | 281人 |



名東区、天白区の境、県営高針住宅西南の住宅やマンションが多い人口急増地にあり、明るく広い運動場、採光、通風にすぐれた園舎で園児達はのびのびとした園生活を送っています。

本園では知育、徳育、体育のバランスのとれた教育を実践していますが、特に年間通しての温水プールでの水泳指導によって子ども達の体育も向上し、又、「自分のことは自分でできるように」の指導により自立心の育成に力を注いでいます。

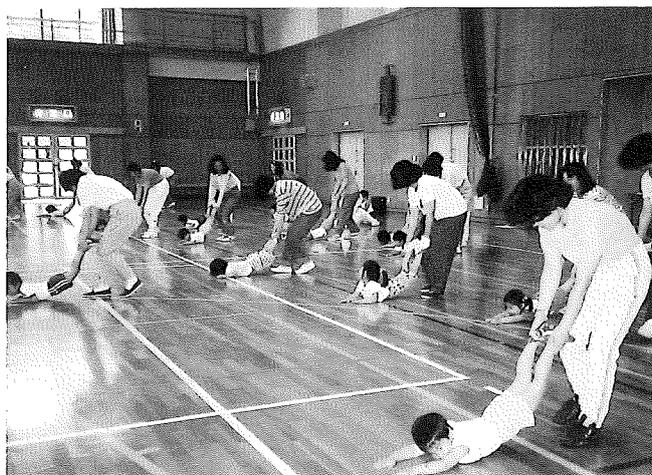
2 生涯教育（社会教育）

生涯教育とは、心身ともに豊かで健康な生活を営むための自発的、自主的かつ系統的な学習活動です。分野は広く、青少年・婦人教育、芸術・文化活動、レクリエーションなど、まさに生涯教育といえます。平均寿命も伸び、自由時間の増大・余暇時間の有効活用の観点からも生涯教育に対する関心が高まっています。一方、いつでも気軽に利用できる生涯教育施設の整備や講座の開設、資料・情報提供など、学習意欲を醸成する環境づくりも進められています。

(1) 名東区の生涯教育施設

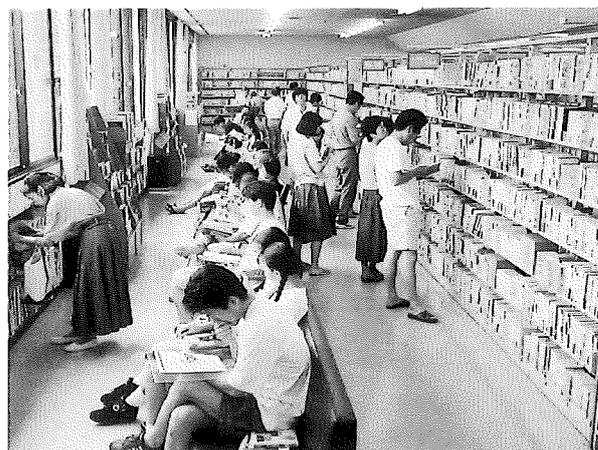
① 名東社会教育センター

社会教育センターは、社会教育法に基づく公民館として、市民の誰もが気軽に利用できる、学習・集会・軽スポーツができる総合社会教育施設です。昭和55年6月に名古屋市で6番目のセンターとして社が丘三丁目802番地に開館しました。施設としては、集会室（3）、視聴覚室、美術室、和室（2）、図書室、料理室、体育室、陶芸窯などがあり、グループやサークル活動などに利用されています。事業としては、年間を3期に分け、約50の主催講座やワープロ・16ミリなどの特別講座、生涯学習まつり・講演会・映画会・音楽会などの文化事業、身障者との卓球交流会をはじめ、各種スポーツを実施しています。このほかグループ・講師の情報提供や学習相談、グループ運営相談などを行っ



社会教育センター

ています。開館時間は、午前9時から午後9時まで（日・祝日は午後5時まで）休館日は、第2火曜日・第4木曜日・年末年始です。開館以来平成5年度末までの延べ利用者は100万人を突破しました。



図書館

② 名東図書館

図書館は、市民の書斎として気軽に利用できる身近な社会教育施設です。名東図書館は、昭和51年6月に名古屋市初めての車椅子、ベビーカーでも利用できる図書館として文教台二丁目205番地に開館しました。

市民の幅広い読書要求にこたえるため、毎年1万冊前後の図書を購入し、現在は、図書131,166冊、紙芝居2,344組、カセットテープ、CDなど793巻と雑誌277種、新聞30種を取り揃えています。

図書館の事業は、本の貸し出し、必要とする本・資料の紹介と調査援助、図書の団体貸し出しと重度身体障害者への郵送貸し出し、図書館資料の複写サービスを行うほか、おはなし会、映画会、人形劇、講演会、不用図書のリサイクル交換会などの行事も実施しています。また、図書館施設のうち、

学習や読書、調査研究などのために学習室と研究室を、読書会、自治会など各種の会合には集会室をそれぞれ提供しています。

また、自動車図書館「あおぞら号」は、動く図書館として約3,300冊の本を積んで、名東区・天白区・守山区内33か所の駐車場を月1回程度の割合で巡回し、本と紙芝居の貸し出しを行っています。

平成5年度の利用状況は、入館者数367,331人（一日平均1,355人）、図書の貸し出し延べ人員217,013人、貸し出し冊数629,855冊（一日平均2,324冊）で、貸し出し冊数は名古屋市の図書館第1位を占めています。

③ 小学校施設の一般開放

小学校施設の一般開放は、施設の一部を学校教育に支障のない範囲内で、身近な地域の集会・学習・スポーツレクリエーション活動などの場として提供することにより、市民の自主的な活動を通じて相互の連帯感、連帯意識をはぐくみ、心豊かさやふれあいのある地域社会の形成を期待するものです。

利用できる施設は特別教室・体育館・運動場で、学校の行事その他教育委員会などが使用する場合を除き、平日は午後6時から午後9時まで、土曜日は午後1時から午後9時まで、日曜日・祝日・休業日（春・夏・冬休み期間中）は午前9時から午後9時まで無料で利用できます。

開放にあたっては、開放施設の管理運営を地元の住民に自主的に行ってもらうため、地元で運営協議会を組織しています。

平成6年3月末現在、名東区内では本郷・引山・平和が丘・牧の原の4校で実施されています。

④ 名東高校の学習開放

昭和59年4月に開校した市立名東高校（大針一丁目130番地）は、図書室と集会室を、学校教育に支障のない範囲で、区民の学習その他公共活動の場として開放しています。

図書室の図書は、市立図書館と同様の手続きで貸し出しを行っています。蔵書は貸し出し対象14,952冊と、閲覧用14,951冊を合わせて計29,903冊（平成5年度末）と充実しています。また、グループでの学習会や地域の諸団体の会合などに利用できるように、特別活動室を集会室として開放しています。

⑤ 市民教養ルーム

市民教養ルームは、市民が文化的教養を深めたり、健康増進をはかるために研修会議室と学校体育館を、学校教育に支障のない範囲で開放するものです。グループでの学習会や読書会、会合、スポーツ、レクリエーションなどに利用できます。

平成6年3月現在市内に10か所あり、名東区には本郷小学校内に「本郷市民教養ルーム」が設置されています。

⑥ 楽陶館

名古屋市高年大学鯉城学園陶芸学科の実習施設として、授業やクラブ活動の場となっているほか、一般市民の方を対象に、各種陶芸教室も開催しています。

(2) 女性の活躍

近年、女性の社会進出には目覚ましいものがあります。出生率の低下も伴って、女性の就業率は上昇し、ライフサイクルも変化してきました。かつて、子育て期は、女性にとって人生の半分以上を占めていましたが、人生80年の現在、それは4分の1程度となりました。

そうすると、女性にとってはそれ以外の時期をいかに生きるかが重要になります。家庭だけでなく、地域とのかかわり、ひいては社会とのかかわりを持ち続けることが重要になってきます。女性の社会進出が進む中で、職場、家庭、地域における女性の地位向上を図り、女性の能力についての社会通念及び男女の固定的な役割分担を見直すための努力が必要となります。

こうした中で、様々な形で持ち上がってくる女性をめぐる種々の問題の解決をめざして、第4期婦人問題懇話会で提言された「女性問題を考える区民のつどい」が展開されました。この事業は昭和61年度に始まり、平成元年度で市内全区を一巡し、行政にとっても、市民にとっても、多くの問題を提起しました。



あすの名東区を語る会

① 「あすの名東区を語る会」

これまでの「女性問題を考える区民のつどい」の成果を踏まえて、家庭・地域などでの女性問題について、広く区民が交流し、テーマを選んで相互に意見交換し、連帯を深めてその解決を図ることを目的として、名称も「あすの区を語る会」にあらため、事業を継続することになりました。

名東区では昭和63年度に「女性問題を考える区民のつどい」を開催し、平成4年度には「イキイキ、さわやか～今、名東区の女性たちは～」を全体テーマに「地域、くらし・環境、福祉」の3つの分科会を設置して討論を重ね、「まとめの全体会」として「あすの名東区を語る会」が開催されました。

② 婦人会活動

名東区婦人連合会は平成元年度に区内の学区婦人会の連合組織として結成されました。平成6年度現在、猪高・上社・北一社・蓬来の4学区の婦人会が加盟しています。主な活動としては、婦人会と区小中学校PTA協議会とで構成する区地域婦人活動促進事業実行委員会が、各界で活躍中の方を講師に招く「名東区婦人の集い」、消費者計量教室等の「地域消費者啓発事業」への参加、平成2年度からは区民まつりでチャリティーバザーを開催して、毎年福祉関係団体に車椅子の寄贈を行っています。

また学区婦人会の単位でも手芸・料理・地域福祉などの教室を開催して、いずれも女性をとりまく身近なテーマを取り上げ、学習・啓発活動に取り組んでいます。

(3) 高齢者の社会活動

高齢者は、長年にわたり社会の進展に貢献してきたものとして敬愛され、健康で安らかな生活が保障されなければなりません。

そのため、学習機会の充実や働く機会の提供など、積極的に高齢者に生きがいを保障するための施策がすすめられています。

一方、高齢者自身も加齢によって生ずる心身の変化を自覚して、常に健康の保持につとめ、その知識と豊かな経験を生かして、積極的に社会活動に参加することにより、明るく楽しい高齢期の生活を送ることが期待されています。

① 学習機会の充実

高齢者の学習機会として名古屋市高年大学鯉城学園（中区新栄三丁目15-45・生涯教育センター内）があげられます。60歳以上の方に学習の場を提供し、地域活動を推進する人材を養成するために開校され、生活・文化・園芸・陶芸の各学科（2年制）が設置されています。名東区内には陶芸学科の実習施設である「楽陶館」があります。

また、福祉会館（老人福祉センター）では、60歳以上の方を対象に、各種の相談・趣味講座などを実施しています。また65歳以上の身体が虚弱な方を対象にデイサービス事業を行っています。その他、老人クラブの開設する福祉大学校もあります。

② 働く機会の提供

おおむね60歳以上の方が、豊かな知識と経験を生かし、臨時的、短期的な就業を通して生きがいを高め、社会活動に参加するため、社団法人名古屋市シルバー人材センターが設立されました。その支部として、地区高齢者能力活用センターが市内4方面に設置されています。名東区に住んでいる人は北部高年者能力活用センター（東区芳野二丁目3-9）が窓口になります。

③ 社会参加の機会拡大

A 老人クラブ活動の振興

おおむね60歳以上の方で構成されるクラブで、日々を楽しく健康に過ごしてもらおうと地域単位に結成されています。ゲートボールや旅行、趣味講座など様々な活動を行っています。

また、老人クラブの地域福祉活動のひとつとして、友愛訪問事業も実施されています。会員が一人暮らし高齢者の安否の確認、孤独感の解消を図るため、定期的に一人暮らし高齢者宅を訪問しています。

B 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

社会福祉法人「名古屋市総合リハビリテーション事業団 福祉スポーツセンター」（瑞穂区弥富町字蜜柑山1-2）では、高齢者スポーツ教室として、60歳以上の方を対象に、健康体操、太極拳、シルバーソフトエアロビクスダンス教室、社交ダンス教室、軽スポーツ教室等を実施しています。

また、60歳以上の方を対象に、安静時や運動時の心電図や血圧などの医学的検査を行ない、高齢者の体に合った運動などを指導する「シルバーフィットネス」も実施しています。

3 スポーツ・レクリエーション



グランドゴルフ

自由時間の増大や高齢化社会の進展などの社会環境の変化は、スポーツ・レクリエーション活動への欲求を一層大きなものとしています。このような中、健康増進と生活を豊かにする生涯スポーツへの関心が高まり、区内でも各種スポーツクラブ・団体が多数活動しており、その活動は年々盛んになってきています。

(1) スポーツ・レクリエーション行事

① 市民スポーツ祭

名古屋市では、昭和34年からスポーツの振興と市民の体位・体力の向上を目的として市民スポーツ祭が毎年8月に開催されています。

区対抗の競技は、軟式野球をはじめ11種目15競技で実施されており、名東区は、分区した第17回大会（昭和50年）より毎年参加し、分区から20年の間に、総合優勝5回、総合2位4回、総合3位3回の好成績を収めています。

② 区民のスポーツ・レクリエーション行事

区体育協会や体育指導委員、体育関係団体を中心に、各種区民スポーツ大会、ジョギング大会、スポーツ教室などのほか、レクリエーション事業として東海自然歩道を歩く会、家族ジョギング大会などを開催し、地域や家族ぐるみでの多数の参加者があります。

(2) 体育関係団体

① 名東区体育協会

名東区体育協会は、体育の振興と区民の健康増進を目的に昭和50年に、区内のスポーツ団体、体育指導委員連絡協議会、区政協力委員協議会などの関係団体をもって設立され、地域スポーツの振興のため各種事業を実施しています。

② 体育指導委員連絡協議会

体育指導委員は、「スポーツ振興法」に基づき、昭和37年に名古屋市体育指導委員規則により制度化され、地域スポーツの振興のため、スポーツの実技指導その他スポーツに関する指導、助言を行い、19学区57名が任命されています。

③ その他の体育関係団体

区内には、区レベルの各種アマチュアスポーツ団体が結成されており、年間を通してのリーグ戦、大会の開催、審判講習会などスポーツの普及に努めています。

4 コミュニティ

コミュニティとは、その地域に住む人々が、よりよい生活環境や心豊かな暮らしを求めて話し合い、助け合い、協力しあえるような連帯感のある町のことです。急激な都市化に伴って、人と人とのふれあいが希薄になり、都市で生活する人々に孤独と不安感をもたらしています。また福祉、青少年問題、環境問題、防犯など地域の人々の積極的な取り組みなしでは解決できない問題も多く発生しています。このような状況の中で、都市生活を“ゆとりとるおいのある”ものとするために、人々が自分の住む地域に愛着を感じられるような、暖かな交流にみちたコミュニティづくりが望まれています。

特に名東区においては、その特徴としてあげられる①若い区・街であること、②急激に人口が増加してきたこと、③古くからの地元の人と外からの新しい人が混在していること、④毎年住民の転出入が多いこと、⑤住宅も中・高層の集合住宅が多いことなどの状況のもとで、より強くコミュニティづくりが求められます。

コミュニティは、日常の活動の中から形成されていきます。例えば、自治会・町内会活動から、市民運動から、ボランティア活動から、スポーツ・レクリエーションなど、多くの人々の積極的な参加を得て、連帯意識をはぐくみ、豊かな地域社会を育てあげていきたいものです。

(1) コミュニティセンター

コミュニティ活動を活発にするため、町内会やグループなどの集会や地域の方が気軽に集まって世間話をしたり、趣味やスポーツなどが楽しめる場所として、名古屋市ではコミュニティセンターを建設しています。

名東区では、昭和59年2月に「豊が丘コミュニティセンター」が開館して以来、他区に比べコミュニティセンターの建設が立ち遅れていましたが平成5年4月に「西山コミュニティセンター」、平成6年5月に「猪子石コミュニティセンター」が開館しました。いずれのコミュニティセンターも2階建て構造で和室が2室、ロビー兼用の談話室及び事務室、会議室があり、各種会合等幅広く利用されています。また、健康体操、茶道、書道、民謡踊り、詩吟などの講座も開かれ、多くの方が楽しまれています。

コミュニティセンター



西山



豊が丘



猪子石

(2) 市制100周年名東区記念事業

千種区より分区独立以降、人口が15万人を超え名古屋の東玄関にふさわしい区として発展を続けている名東区は、明治22年に名古屋市制が施行されて以来、平成元年に100周年を迎えるにあたり、これを記念し、市制100周年を地域住民で祝い、区民が自由に参加できる行事を開催することにより、相互のふれあいをはかり、活力のあるまちづくりの推進に寄与することをめざし区の記念事業が開催されました。区民みんなが気軽に参加できるイベントとして「お祭り広場」が開催され、鼓笛隊・子どもみこし・仮装行列によるパレードをはじめ消防音楽隊による演奏、おまんこ行列の行進・火縄銃の実演、棒の手演技、消防団階梯操法、総踊り、お楽しみ抽選会、ふあふあアスレチック、ミニSLなど、一方室内では芸能まつり、「名東区今昔写真展」・「区内史跡・文化財パネル展示」等が実施されました。

また、名東区の特徴あるイベントとして区内にある伝統的行事であり、過去においても、祝いごとのあるときに実施されてきた「馬の塔」を復活させ、高針・猪子石両地区から豪華な馬道具や馬標を着飾った馬と揃いの衣装を着て、火縄銃などで勇ましく身をかためた行列が実施されました。その他、区内史跡・文化財・名所めぐりやウォークラリー、名東区全体の航空写真の撮影が行われました。また、99歳以上の人にお祝いとして記念品が贈呈されました。



お祭り広場



友・遊ひろば

(3) 区民まつり

市制100周年記念事業を機に、平成2年から毎年各区において区民まつりが開催されることになり、名東区においては、地域に対する愛着心（ふるさと意識）を高め、区民相互のふれあい交流の場として子どもから大人までの多数の区民が参加でき、ふれあいが深められる、区民の手による区の特徴を生かした「区民まつり」が実施されています。

主な内容はキャラクターショー、ブラスバンド演奏、抽選会、歌謡ショー、棒の手演技、太鼓打囃子、盆踊りなどです。

5 広報広聴

(1) 広報

広報活動は、市政情報を市民に提供し、市民の市政への関心を深め、行政と市民との間に良好な信頼関係を確立させることを目的としています。

広報の方法としては「広報なごや」、「市広報板」などがあります。

① 広報なごや

市政PR紙として「広報なごや」は市民と市政を結ぶ重要なパイプになっています。昭和24年3月創刊以来、毎月発行し、昭和29年から市内の全戸に配布しています。

配布は、各区役所から通達員によって各戸に届けています。平成3年4月号から発行日を毎月1日とし、その月の10日までに市民への配布を完了しています。

発行部数は平成6年7月1日現在名古屋市全体で888,744部、名東区では61,500部です。新聞用紙タブロイド判12ページまたは16ページで高速オフセット印刷です。10・11面には区版を設け、区内の行事、保健所の健康診断や予防接種の案内など、きめ細かくお知らせしています。

② 市広報板

「市広報板」は市政のPRの一助として、区内各所に設置しています。掲出ポスターは、月2回（1日・15日）取り替えを原則として、1基にB3判ポスター6枚を貼付しています。

(2) 広聴

広聴活動は、市政の民主的な運営を図るため、市民の卒直な声を聞き、これを市政に反映させることを目的としています。

名古屋市では、昭和23年に弘報室が設置され、広報広聴活動として「広報なごや」・広報板・ラジオ・テレビなどによるものや、「市政モニター制度」・「市長に手紙を送る運動」・「街頭市民相談」などが相次いで取り入れられました。

区役所でも、昭和29年4月に教育課に広報広聴活動の第一線として学事広報係が設置されました。その後、機構改革を経て、昭和51年5月には区役所における住民対応の窓口として区民室が設置され、平成3年4月には地域振興課となり現在に至っています。



区民のひろば

① 集会広聴

A 地域懇談会

区長はじめ区内の官公所（署）長と関係職員が地域住民の意見・提案などを直接聴き、これを市政に反映させるとともに、市区政についての広報を図り、区民の理解を深め、住み良いまちづくりを進めていくことを目的としています。

毎年、学区単位の地域懇談会を開催しています。

B 区民のひろば

広聴集会の目的は、幅広い市民の意見・要望を集約し、それを市政に反映させることで、市政への市民参加を実現することにあります。しかし、最近の社会生活は、多様化、複雑化しており、今までのような行政側の取り組みだけでは十分でなく、区民と行政がともに協力しなくては解決できない地域課題も増えてきています。

そこで、こうした情勢を踏まえ、地域のあり方について、区民と行政がともに考えていく場として、「区民のひろば」を開催することになりました。「区民のひろば」は、幅広い区民で構成された実行委員会と区との共催による運営とし、テーマについても、区の特徴を生かした具体的な地域課題をテーマとして設定することにより、区民同士の話し合いに方向性を持たせ、かつコーディネーターやパネリストによるガイダンスなどを通して、テーマに関する現状知識の向上を図り、問題点の把握と整理をしながら参加者全体での討議を行い、意見・提言をまとめ、今後の市政への反映を図るとともに、まちづくりに役立てようとするものです。

最近では、平成6年12月14日に名東区でも開催されました。

② 個別広聴

市民の苦情・要望・相談を処理することにより、市民サービスの向上を図り、具体的な問題についての回答を通じて、市政の内容や現状を理解してもらうとともに政策に反映する資料として役立てようとするものです。

A 一般相談

区における情報提供と市政相談の充実を図るため、情報・相談コーナーが区役所内に整備され、平成6年5月16日から業務を開始しました。

このコーナーでは、市政に関する様々な相談に応じる市政相談をはじめ、市政情報の提供と総合的な業務案内、パンフレットやちらしなどの配布を行っています。市政資料や郷土資料を取りそろえていますので、自由に閲覧もでき、市政・区政に関する身近な相談窓口として、区民の皆さんに利用されています。

B 特別相談

市民の日常生活が多様化する中で、法律的に解決しなければならない悩みごとが増えてきています。そこで区役所では、住民サービスの一環として、毎月第2・第4金曜日の午後1時から3時30分まで相談所を開設し、交通事故相談や防犯相談および弁護士が面接相談に応じる法律相談（例えば、土地家屋の賃貸借、売買、金銭貸借、夫婦親子、相続、損害賠償、相隣関係など）を無料で行っています。

6 国際交流

日本が国際化の時代に入っただけでなく、名古屋市の国際化も年々近づく一方で、名古屋空港の国際線旅客者数は293万人（平成5年）と10年前の7倍あまり、国際会議の開催件数は105件（平成4年）で10年前の7件（昭和58年）のなんと15倍となりました。

名東区内の外国人登録者数も1,888人（平成3年）、2,077人（平成4年）、2,227人（平成5年）と年々増加を続け、この状況を背景に区民による外国人との交流も様々な広がりをを見せています。

(1) 国際協力事業団 「名古屋国際研修センター」

昭和46年3月、名東区亀の井の閑静な住宅地に建設された、「名古屋国際研修センター」は技術協力計画により来日して、東海地方の国・県・市の試験研修機関や、大学・民間企業などで研修を受ける技術研究員の「研修及び宿泊」の拠点として機能する国際協力事業団の附属施設です。

アジア、中近東、アフリカ、中南米など約50か国から毎年250人から300人の研修員を受け入れています。

また、I F（International Family）の会は、昭和57年、研修員に充実した生活を送ってもらうとともに、日本人との文化交流を通じてお互いの理解を深めることを目的に発足しました。メンバーは約200家庭。「気楽に、気長に、気持ちよく、

の三気主義をモットーに、研修員とI Fの会のメンバーで、インターナショナルパーティーを開いて日本の文化や世界各国の文化を紹介しあったり、ホームステイやホームビジットの交流を行ったりして、親睦を深めています。



交流会

(2) 小中高等学校の国際交流

将来の日本を担う子供たちに国際理解を促し、外国人に偏見や差別意識を持たず、互いの人権を尊重する国際人を育成するため、小中高等学校の国際交流が積極的に行われています。国際研修センターの研修生や留学生を招いて交流会を開催したり、高針小学校では韓国、オーストラリア、ブラジルの小学校と姉妹校提携して作文や絵画の交換を、上社中学校では生徒会とPTAが一体になって開発途上国の学校建設支援を行っています。また、千種高校には国際教養科が、名東高校には英語科が併設され、東邦高校でも中国やニュージーランドの姉妹校と交換留学やホームステイなど活発な交流が行われています。

(3) 愛知淑徳大学国際交流会館

名東区新宿二丁目に平成6年5月に開館した、留学生のための宿泊・研修施設です。同会館では、講演会やミニコンサート、関係各国の料理教室などを開き、地域との連携をめざしています。

7 ボランティア活動

「労働時間が減少して自由になる余暇時間が増大した。」「海外から災害や飢餓の報道が絶えず流れてくる。」「身近に高齢者や心身障害者と接することが多くなった。」こんな様々な環境の変化を受けてボランティア活動をしてみたいという人々が増えています。

広くボランティアに関する情報の収集・提供、ボランティア活動に関する相談、広報啓発などを行うセンターとして、中区役所朝日生命共同ビルに名古屋市市民情報センター「ボランティア情報コーナー」があるほか、地域住民の社会福祉に関する理解と関心を深め、ボランティア活動への住民参加の促進を図るため、市社会福祉協議会にはボランティアセンター、各区の社会福祉協議会にはボランティアビューローが設置されています。

(1) 名東区社会福祉協議会・ボランティアビューロー

名東区社会福祉協議会にもボランティアビューローが設置されており、ボランティア活動をしてみたいが方法の分からない人にボランティアグループや受け入れ施設を紹介したり、ボランティア保険の受け付け、ボランティア講座などを行っています。夏休みを利用して中学生・高校生にボランティアの体験をしてもらうサマーボランティアスクールには、平成5年度で97名もの参加者がありました。

また、ボランティア同士の横の交流を促進するため、区内の社会福祉施設や病院などで活動しているボランティアグループ20団体による名東区ボランティア連絡会を組織し、年に2回位ずつ交流会を開催しています。

(2) 身体障害者スポーツセンター

身体障害者スポーツセンターには、個人ボランティア登録制度があります。随時、登録を受け付けており、平成5年度には約150名の登録者がありました。ボランティアは、事前に卓球や水泳、バドミントンなど得意種目を登録しておき、いつでも都合のいい時に障害者の指導に当たるほか、各種スポーツ教室の指導を手伝ったり、スポーツ大会の審判や、運営の補助にあたるなど身体障害者スポーツセンターになくてはならない貴重な戦力です。

(3) 名東図書館

名東図書館では2つのお話ボランティアグループと2名の個人ボランティアが活動しています。ボランティアの協力で毎月第2木曜日に手作りの人形劇や紙芝居などが、第3木曜日などにストーリーテリングや絵本の読み聞かせが行われ、子供たちの人気を博しています。

(4) 名古屋市厚生院

福祉医療センター名古屋市厚生院には設立以来20年を越えたボランティアグループ「くすのき会」があります。会員は30代から80代までの女性ばかり百数十名。5班に分かれて交替で週に2回位ずつ活動を続けています。

主な仕事は、洗濯物たたみや、床頭台（ベッドの横の小物戸棚）の掃除、繕い物、食事の介助、散歩の付添い、行事の手伝いなど様々。スタッフの雑務の負担を減らすことで入所者の介護の充実に役立てばという気持ちが込められています。

その他、年配の男性たちのグループが、月に1回ずつ庭掃除や道路清掃など、日頃手の届かないところをお手伝いしながら入所者の話し相手になったりして喜ばれています。